



第 2 四 半 期 決 算 説 明 会

2016年(平成28年)11月22日

ネツレン

高周波熱錬株式会社

I 第13次中期経営計画の見直し

II 経営実績の推移

III 新商品の開発と実用化および新事業の開拓

IV 2017年(平成29年)3月期第2四半期 連結決算の概要



1

第13次中期経営計画の見直し



- **連結経営目標**
- **各国の経済状況**
- **業界別市場動向**
- **為替、資源・エネルギーの価格動向予測**
- **中期経営計画挽回施策**
- **更なる原価低減策**

2

連結経営目標 (1)

スローガン 「*Global Innovation 70th*」

(グローバル イノベーション セブンティース)

設立70周年(2016年5月)を迎えて、「経営」「技術」「生産」「機能」「人づくり」に関する果敢な革新の推進

当社グループを取り巻く事業環境が当初計画立案時から大幅に変化していることをふまえ、 Netzengrupp 第13次中期経営計画「*Global Innovation 70th*」(2015年5月11日公表)を以下のとおり見直しました。

2018年3月期連結経営目標

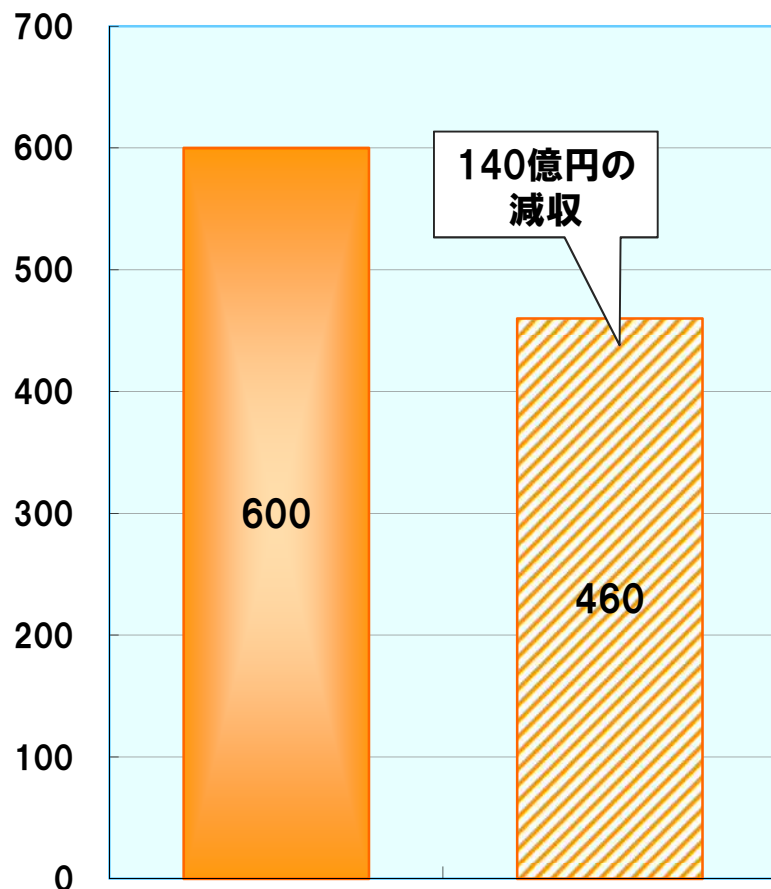
	今回見直し計画	当初計画
売上高	460億円	600億円
営業利益	34億円	52億円
営業利益率	7.4%	8.8%
ROA(総資産経常利益率)	5.1%	6.7%
ROE(株主資本純利益率)	5.6%	5.3%

3

連結経営目標 (2) ~ 減収の主な要因

(単位: 億円)

連結売上高



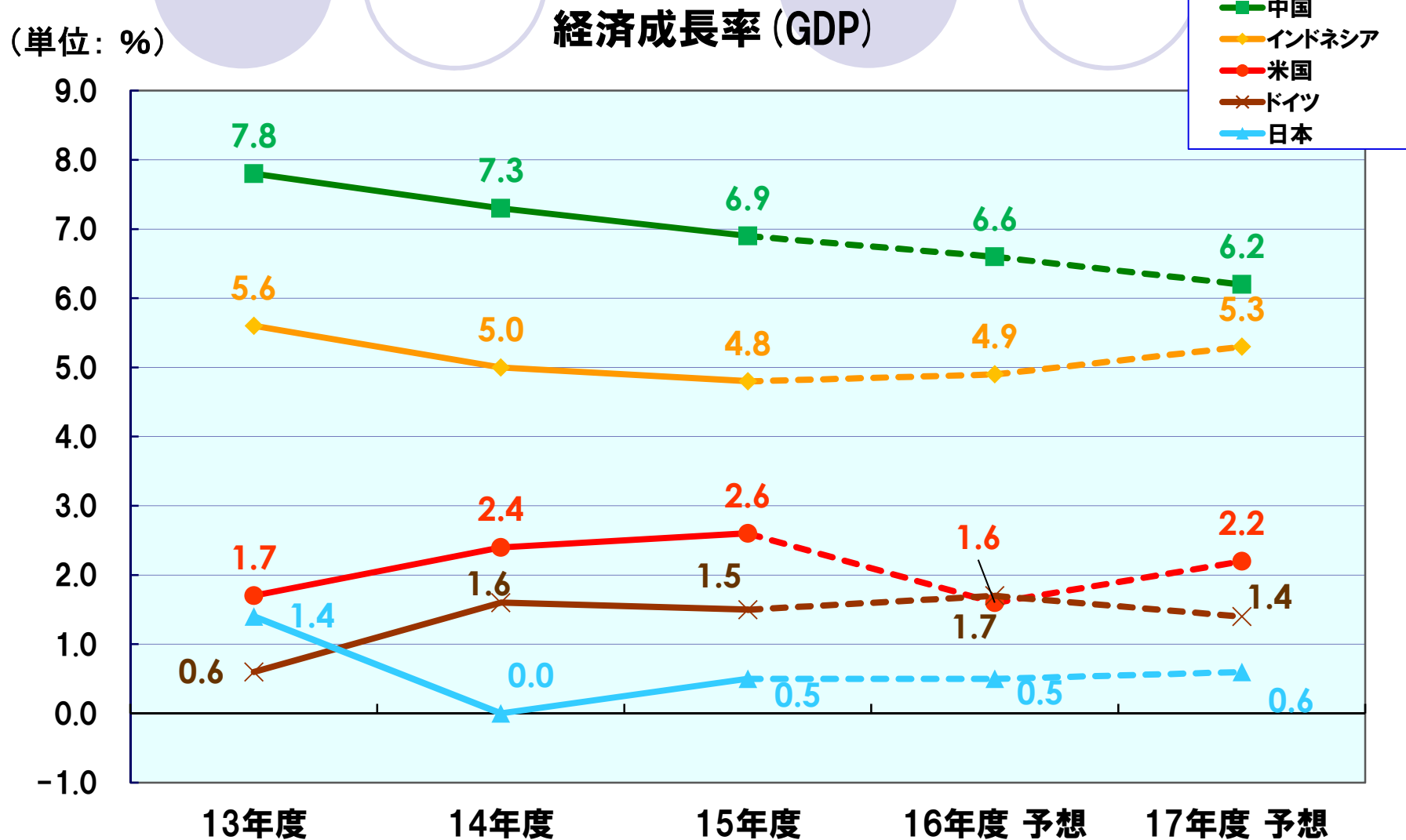
17年度 当初計画 17年度 見直し

(単位: 億円)

主な要因	影響額
自動車業界向け	26
建設機械業界向け	41
新商品の投入遅れ	46
為替影響 (1ドル118円→103円) (1元18円→15.4円)	16
販売価格低下に伴う売上減	6
その他	5
合計	140

4

各国の経済状況



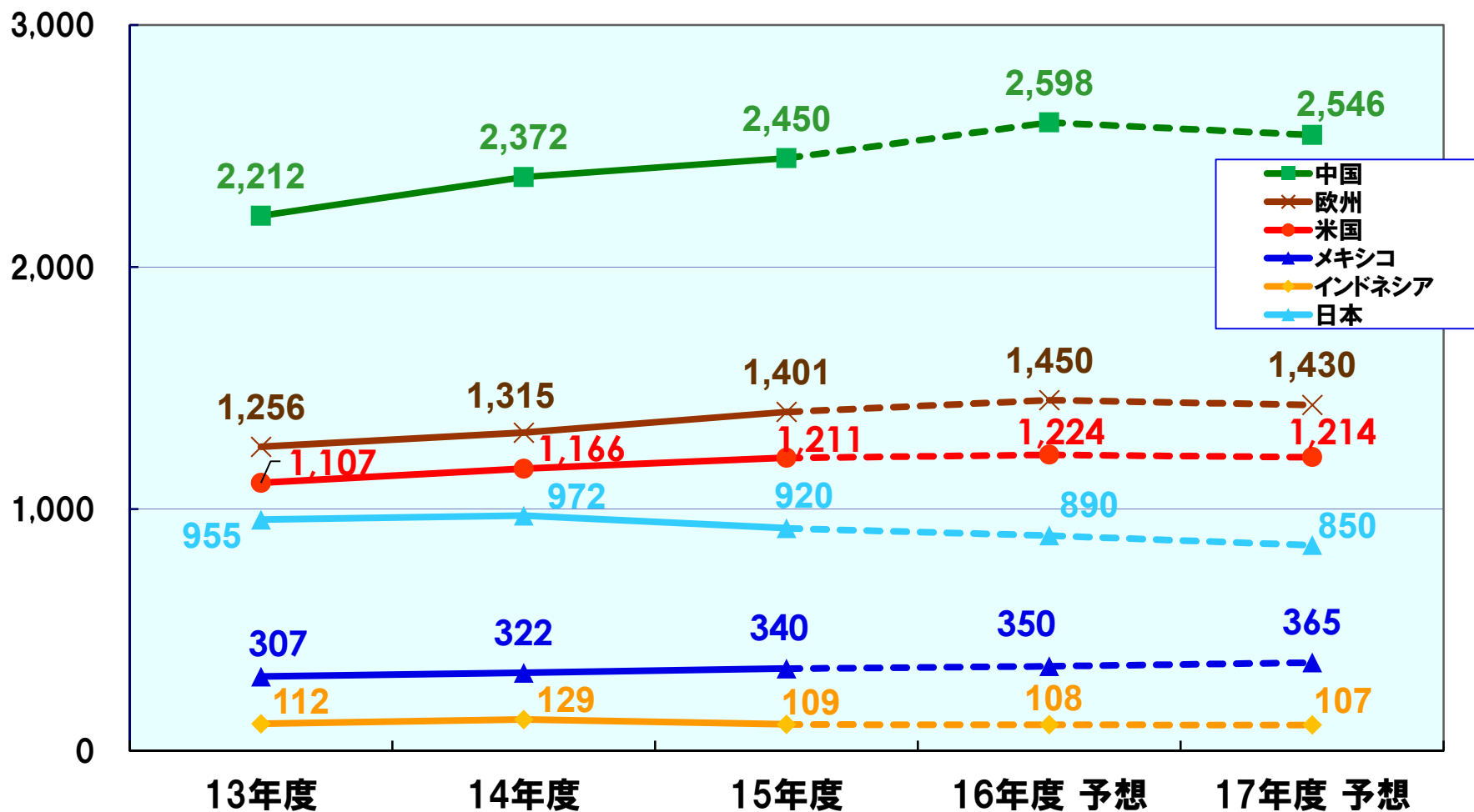
出典: IMF - World Economic Outlook Database, October 2016(2017年までの予測を含む各国GDP率)

5

業界別市場動向 (1) ~ 自動車

各国の自動車生産台数の推移

(単位:万台)



出典: 2015年までの実績はマークラインズ「自動車生産台数速報」、2016年以降の予測については弊社予測数値。

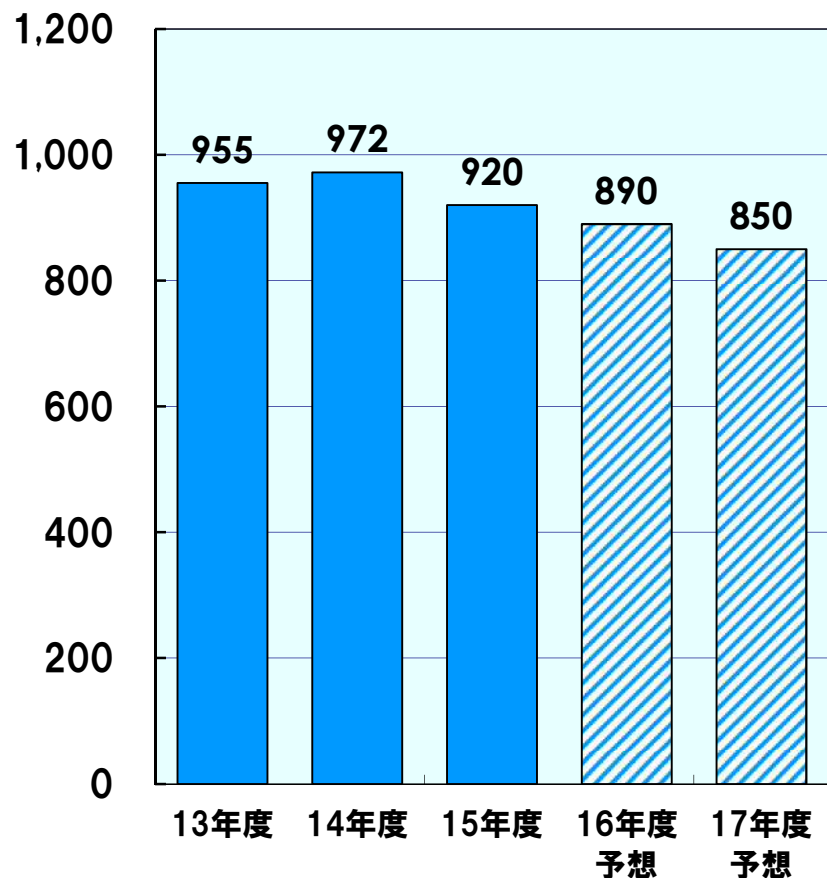
6

業界別市場動向 (2)

売上高の推移 [自動車-日本]

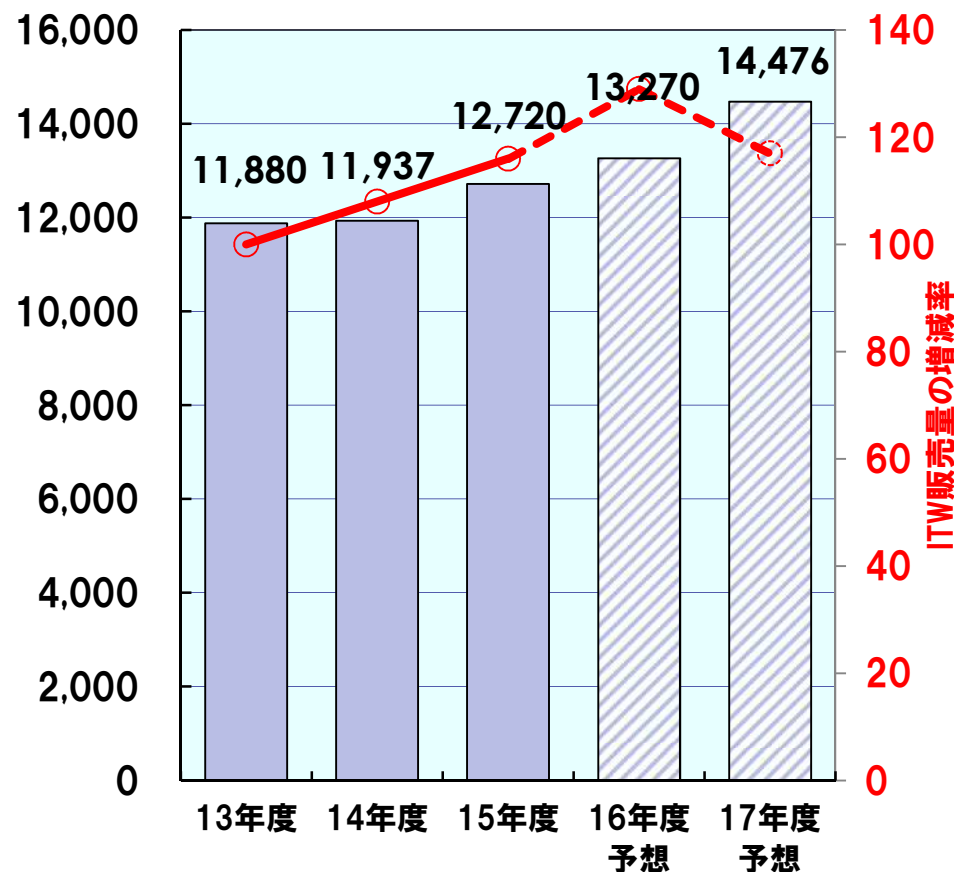
(万台)

生産台数推移



(百万円)

ネットレン (日本) 売上高推移 (%)



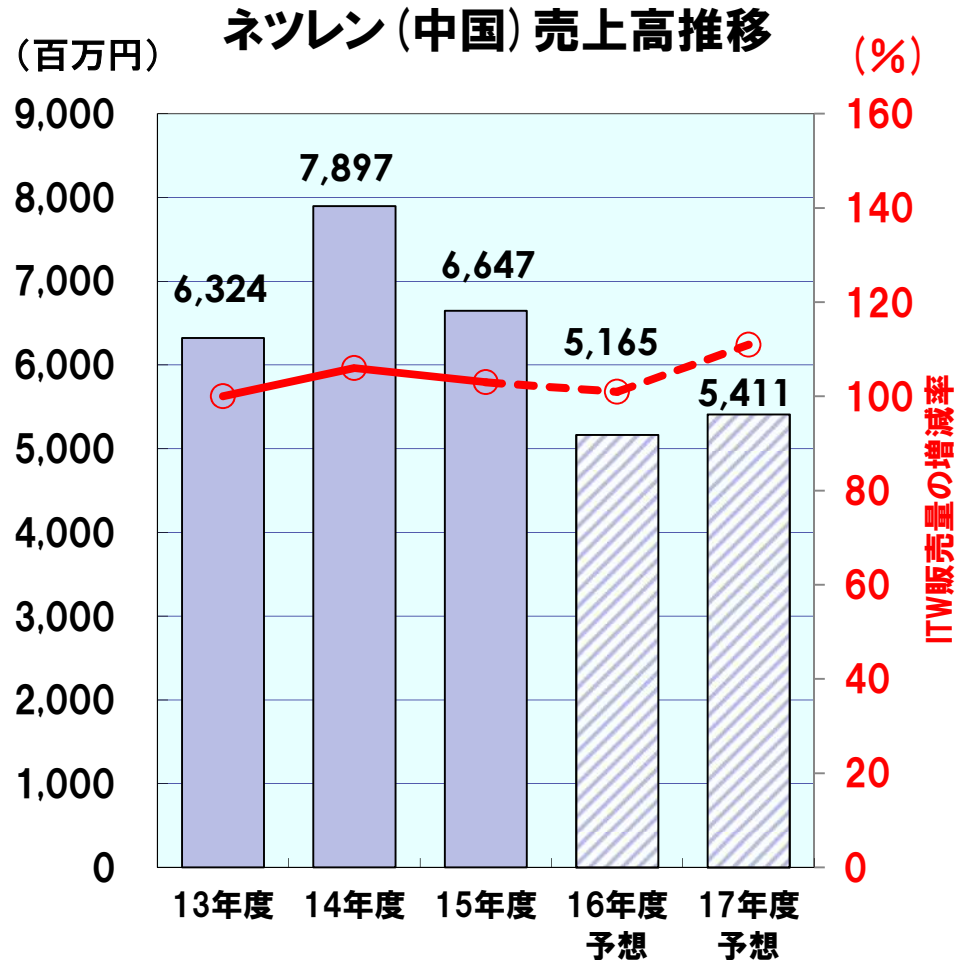
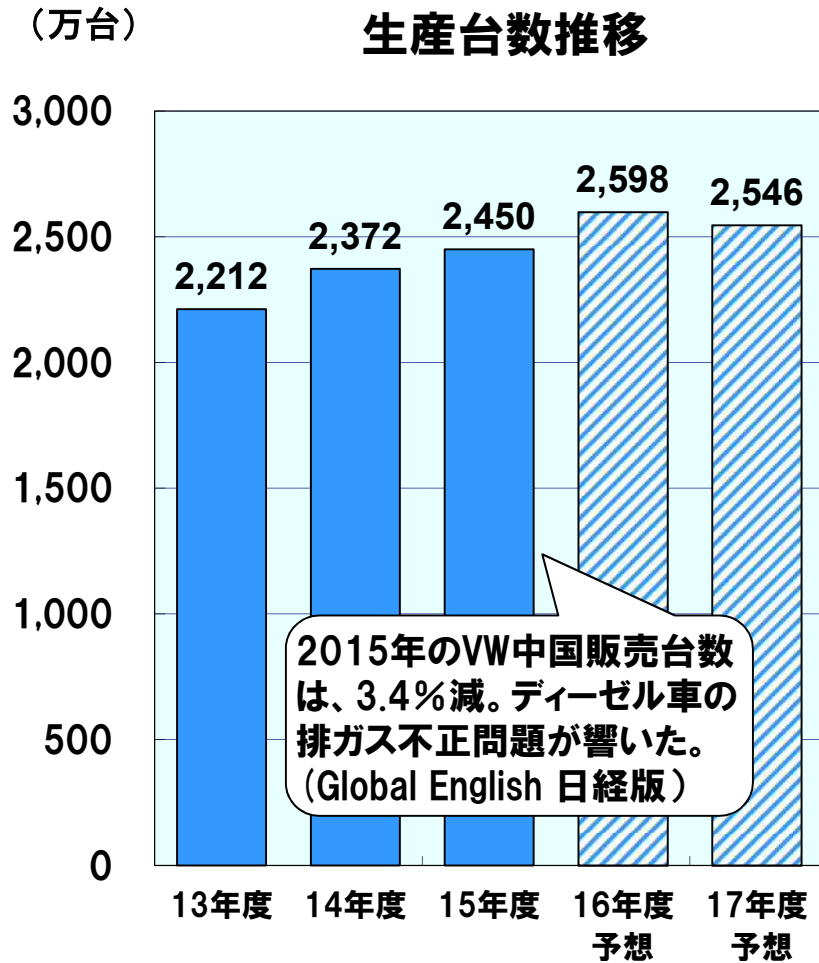
出典:2015年までの実績は日本自動車部品工業会「経営動向公表数値」、2016年以降の予測については弊社予測数値。

ITW増減率:2013年度を100とした場合

7

業界別市場動向 (3)

売上高の推移 [自動車-中国]



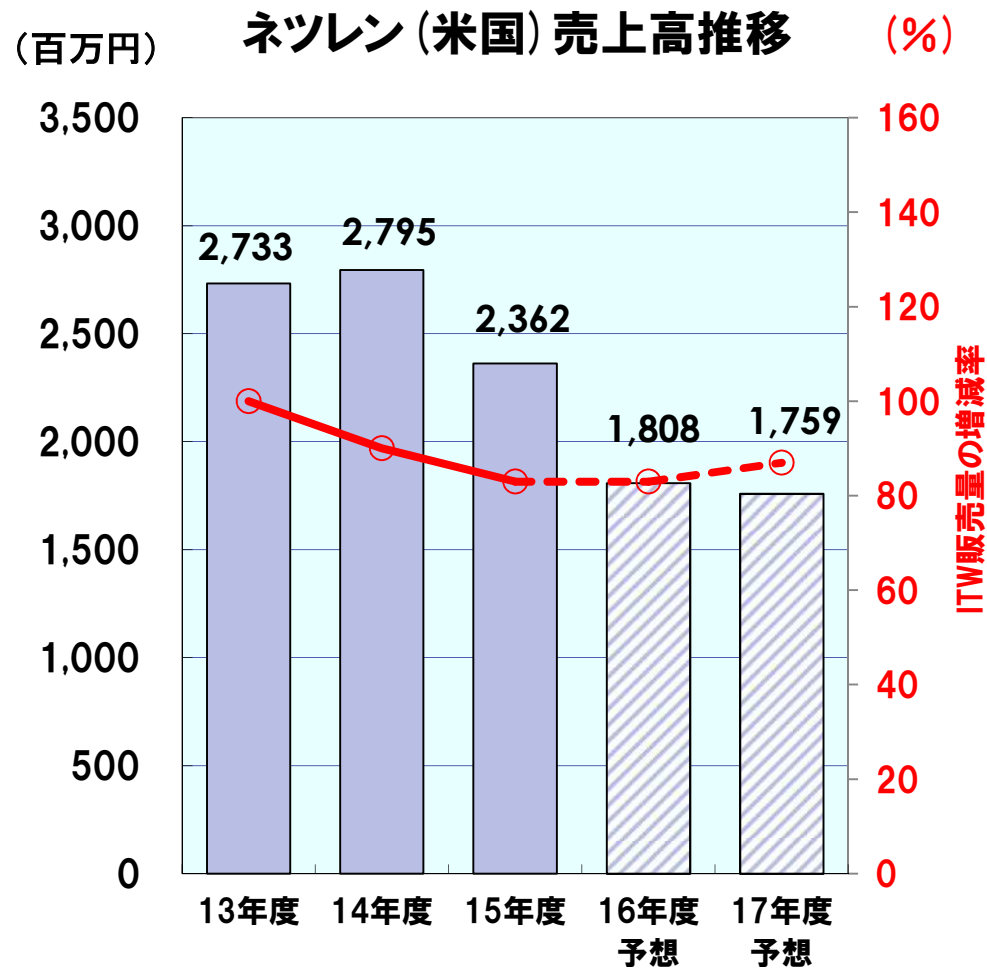
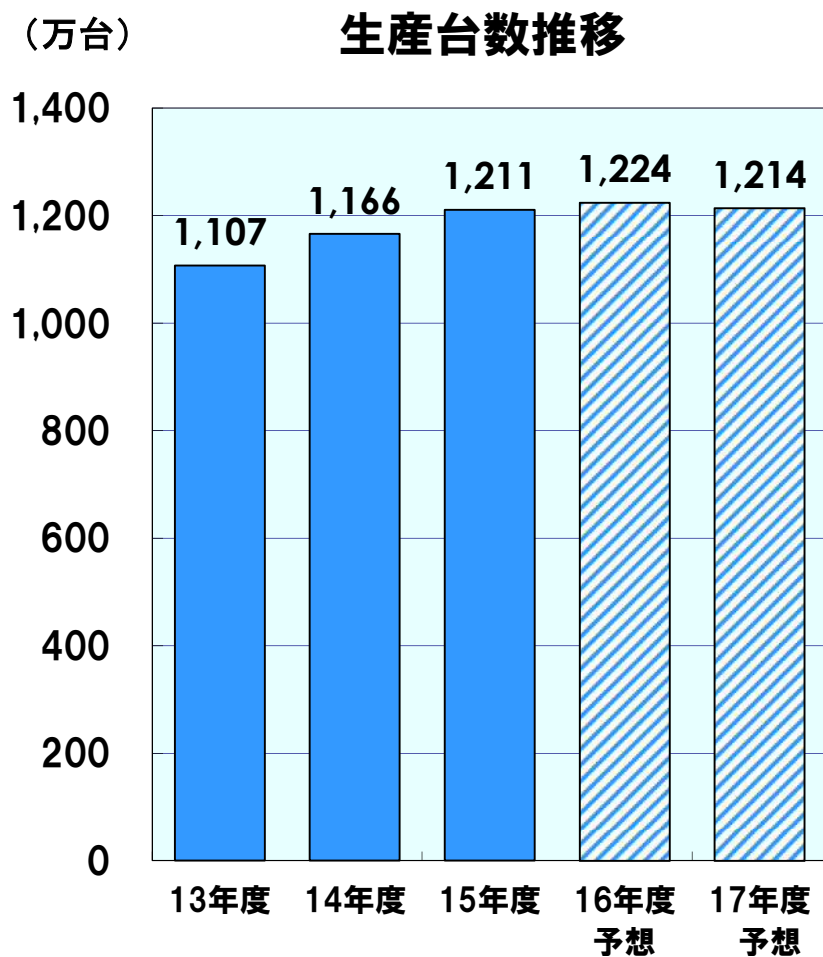
出典: 2015年までの実績はマークラインズ「自動車生産台数速報」、2016年以降の予測については弊社予測数値。

ITW増減率: 2013年度を100とした場合

8

業界別市場動向 (4)

売上高の推移 [自動車-米国]



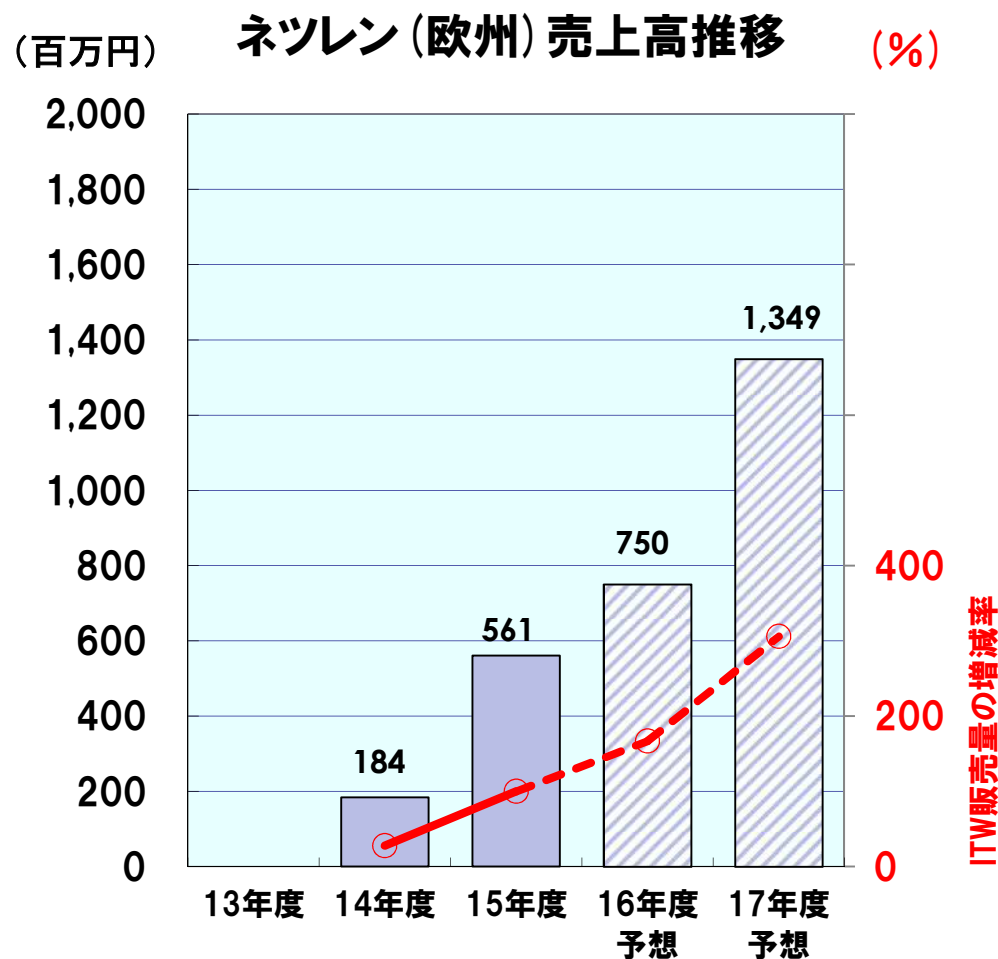
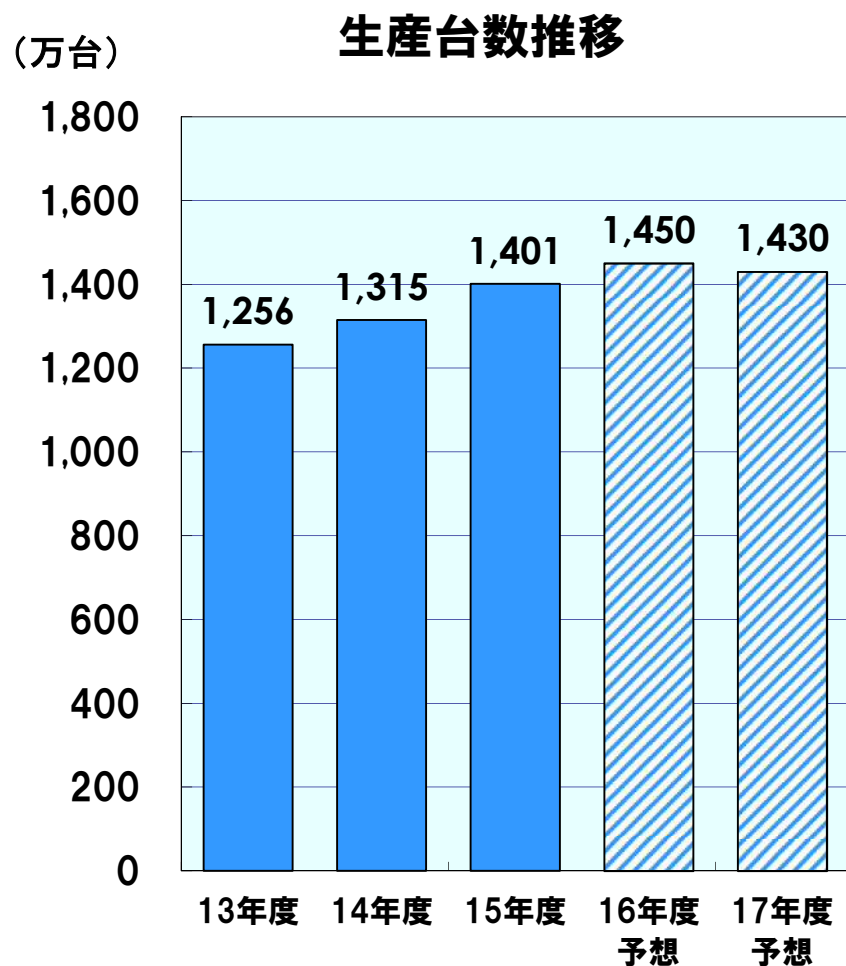
出典: 2015年までの実績はマークラインズ「自動車生産台数速報」、
2016年以降の予測については弊社予測数値。

ITW増減率: 2013年度を100とした場合

9

業界別市場動向 (5)

売上高の推移 [自動車-欧州]



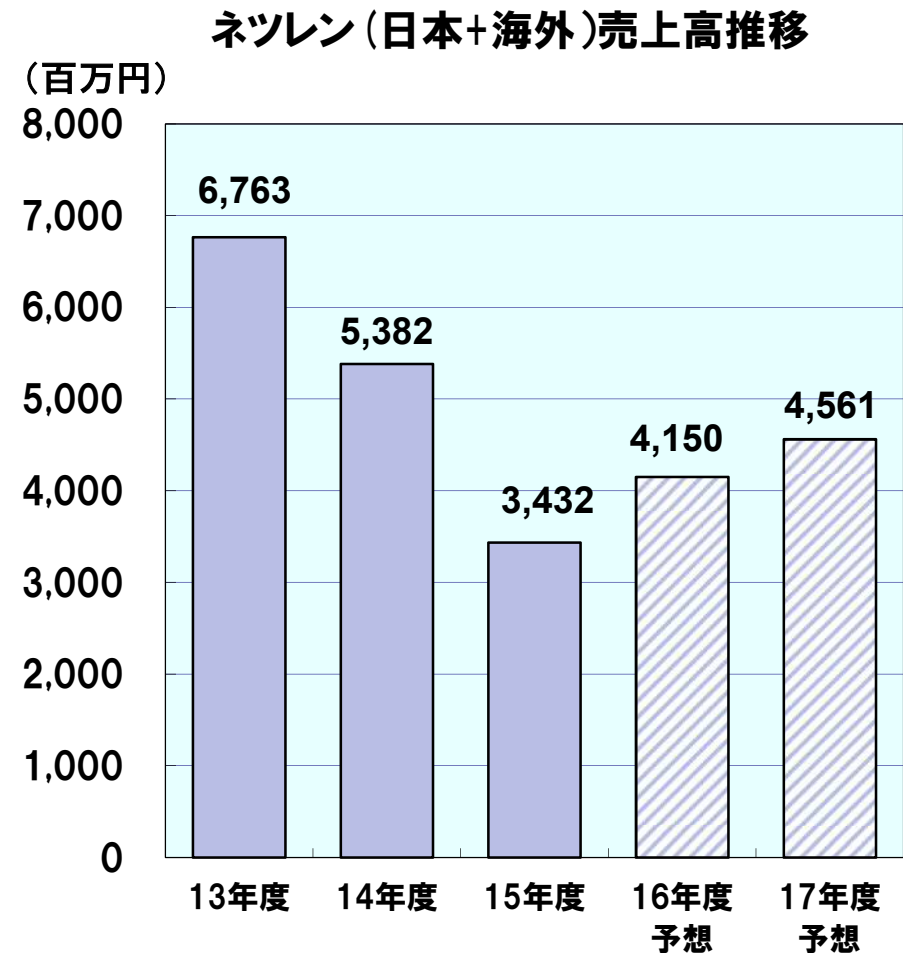
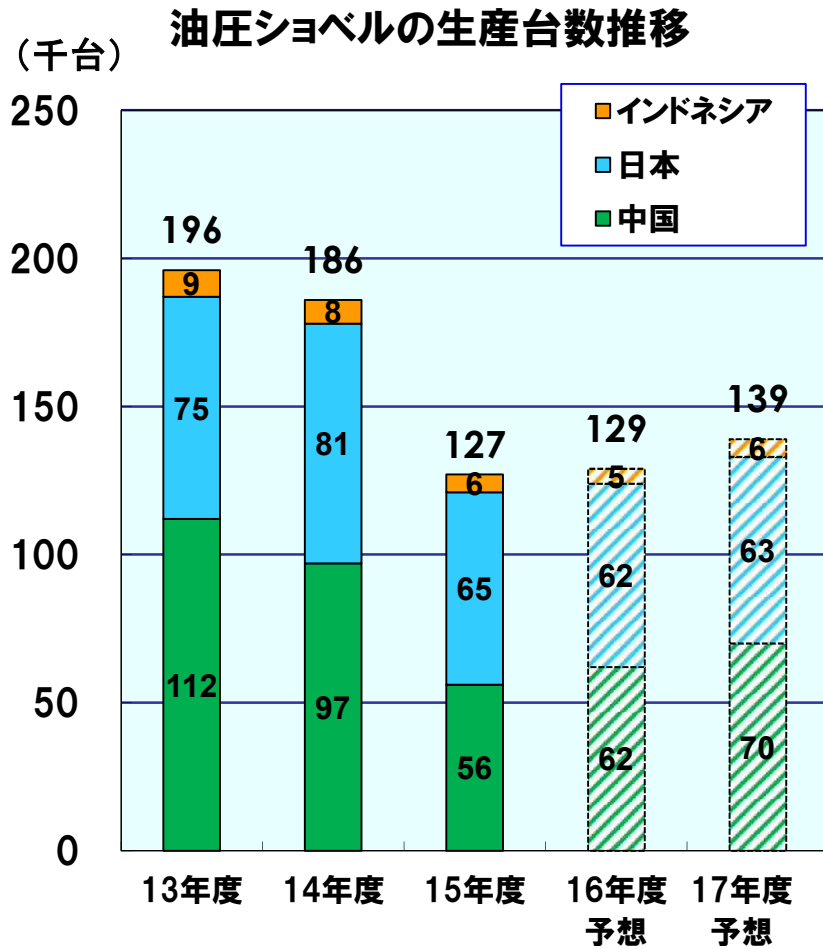
出典: 2015年までの実績はマークラインズ「自動車生産台数速報」、
2016年以降の予測については弊社予測数値。

ITW増減率: 2015年度を100とした場合

10

業界別市場動向 (6)

売上高の推移 [建設機械]



出典: 2015年までの実績は、日本=日本建設機械工業会公表数値、
 中国=中国工程机械工业协会 (CCMA) 公表数値、
 インドネシア=日本主要建機メーカー公表数値を参考とした弊社予測数値。
 2016年以降の予測は各国ともに弊社予測数値。

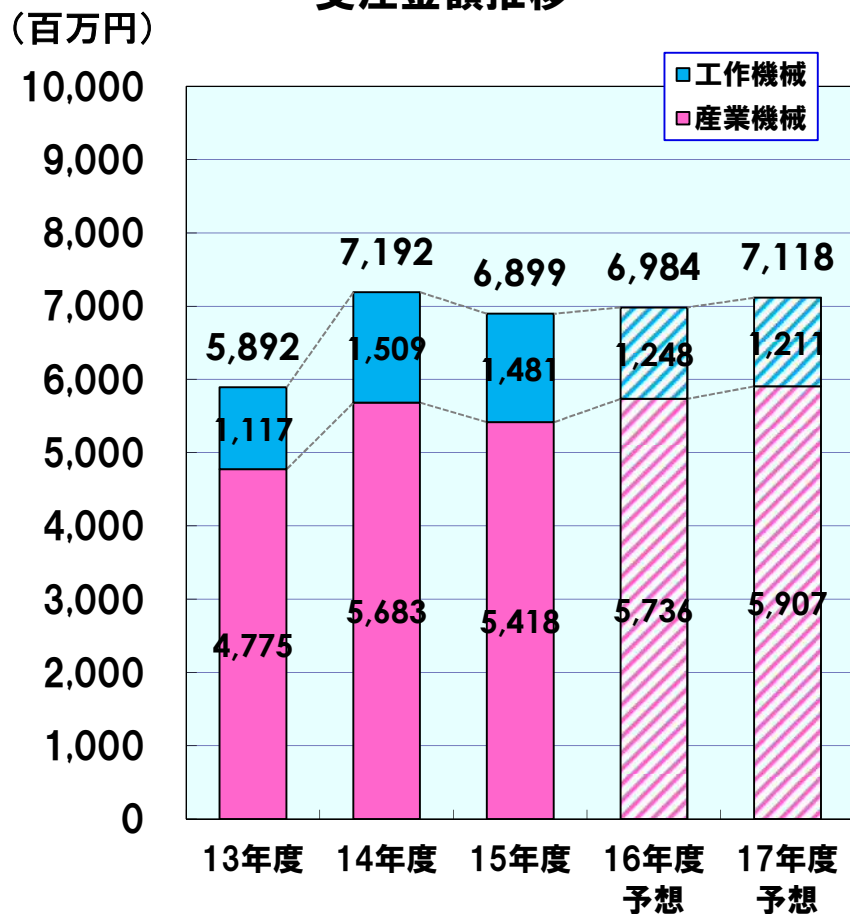
出典: 2015年までの実績は、日本産業機械工業会「受注状況公表数値」、2016年度以降は弊社予測値。

11

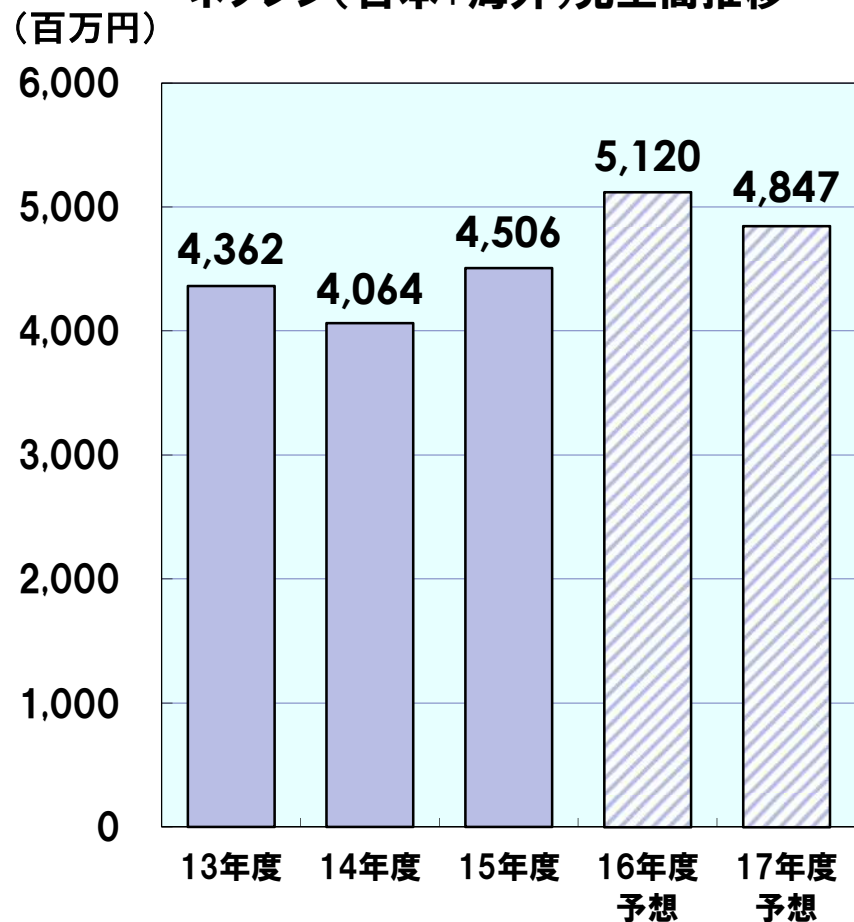
業界別市場動向 (7)

売上高の推移 [産業機械・工作機械]

受注金額推移



ネットレン(日本+海外)売上高推移



出典:2015年までの実績は、日本産業機械工業会「受注状況公表数値」、2016年度以降は弊社予測値。

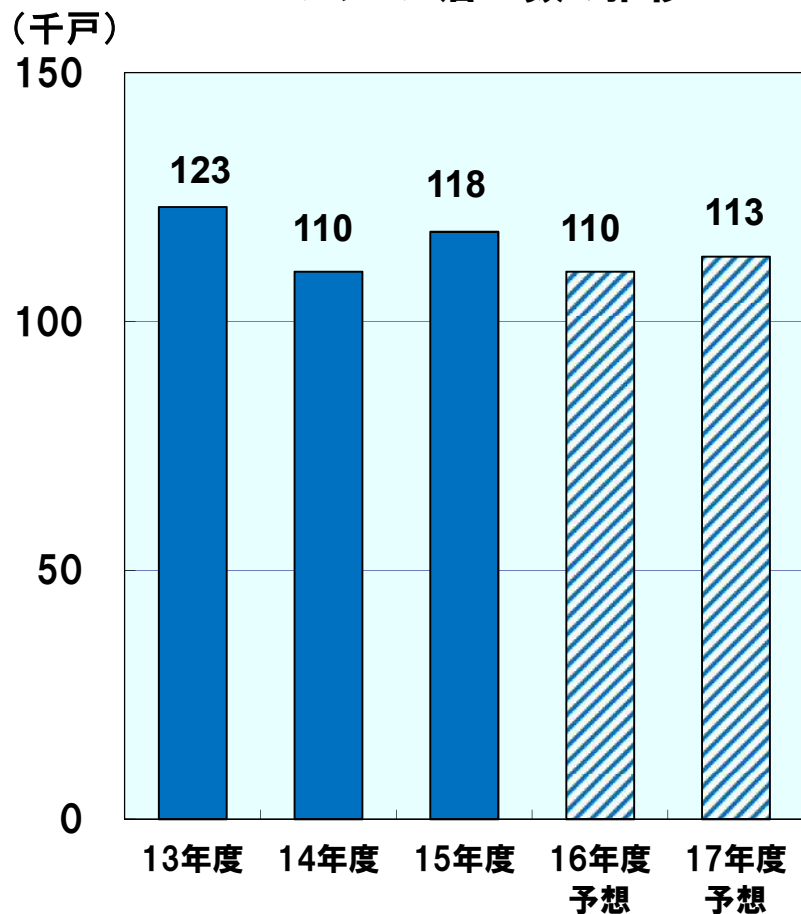
出典:2015年までの実績は、日本産業機械工業会「受注状況公表数値」、2016年度以降は弊社予測値。

12

業界別市場動向 (8)

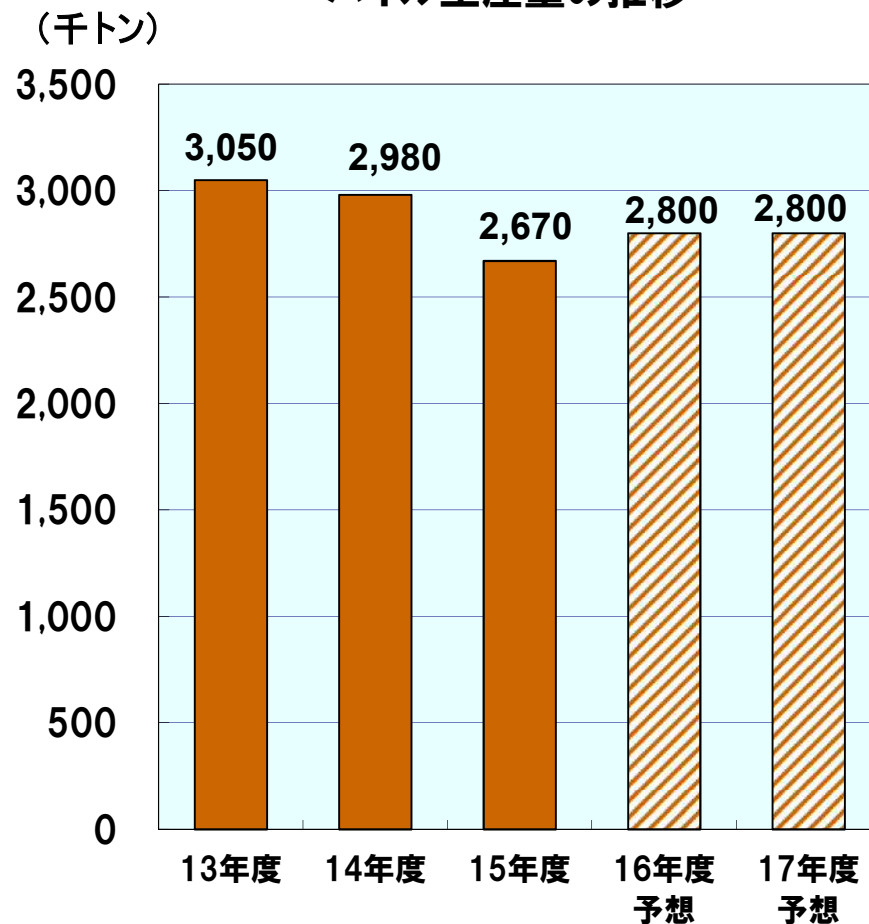
[土木・建築-日本]

マンション着工数の推移



出典: 国土交通省「建築着工統計調査(月報)公表資料」。
2016年以降の予測については弊社予測数値。

パイル生産量の推移



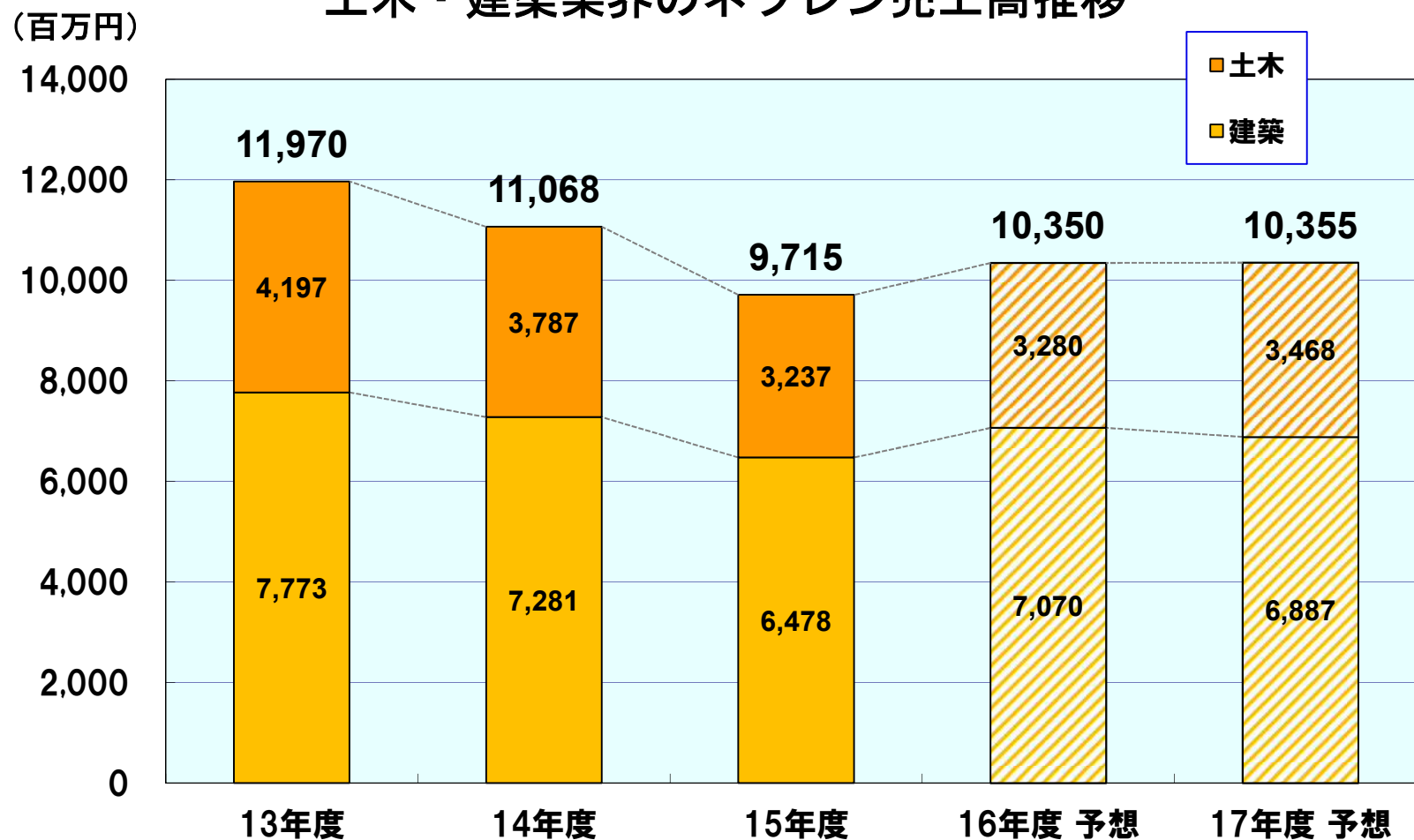
出典: ホール・パイル協会「統計数値」より抜粋。
2016年以降の予測については弊社の予測数値。

13

業界別市場動向 (9)

[土木・建築-日本]

土木・建築業界のネット売上高推移



14 為替、資源・エネルギーの価格動向予測

1. 為替レート

1USD = 103.0円
1中国元 = 15.4円

見直し時期でのレートで判断。
(当初: 1USD = 118円、1中国元 = 18円)

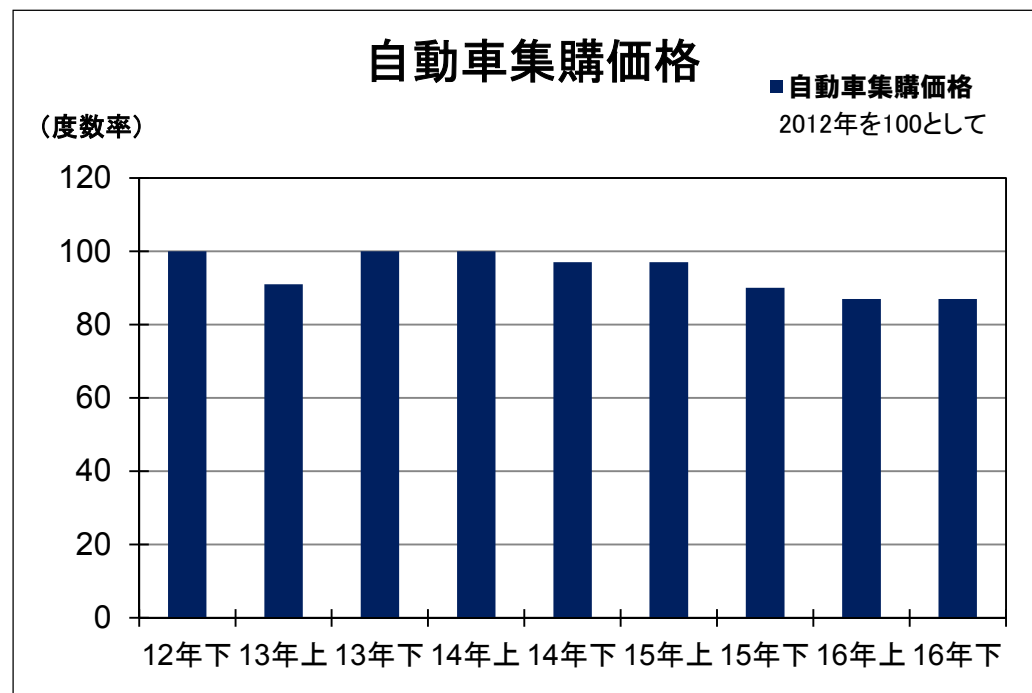
2. 鋼材価格・電力料金予測

(1) 鋼材価格

- 自動車集中購買価格(集購)との連動性が強く、最近の動向に変化がないことより、変更しないこととした。

(2) 電力料金予測

- 電力各社の基本料金は変化なく、変更しないこととした。



出典: 新聞の集購関連記事に記載された数値から弊社推測による。

15

中期経営計画挽回施策(1)

1. 経営の取り組み

(1) 経営改善活動の強力推進

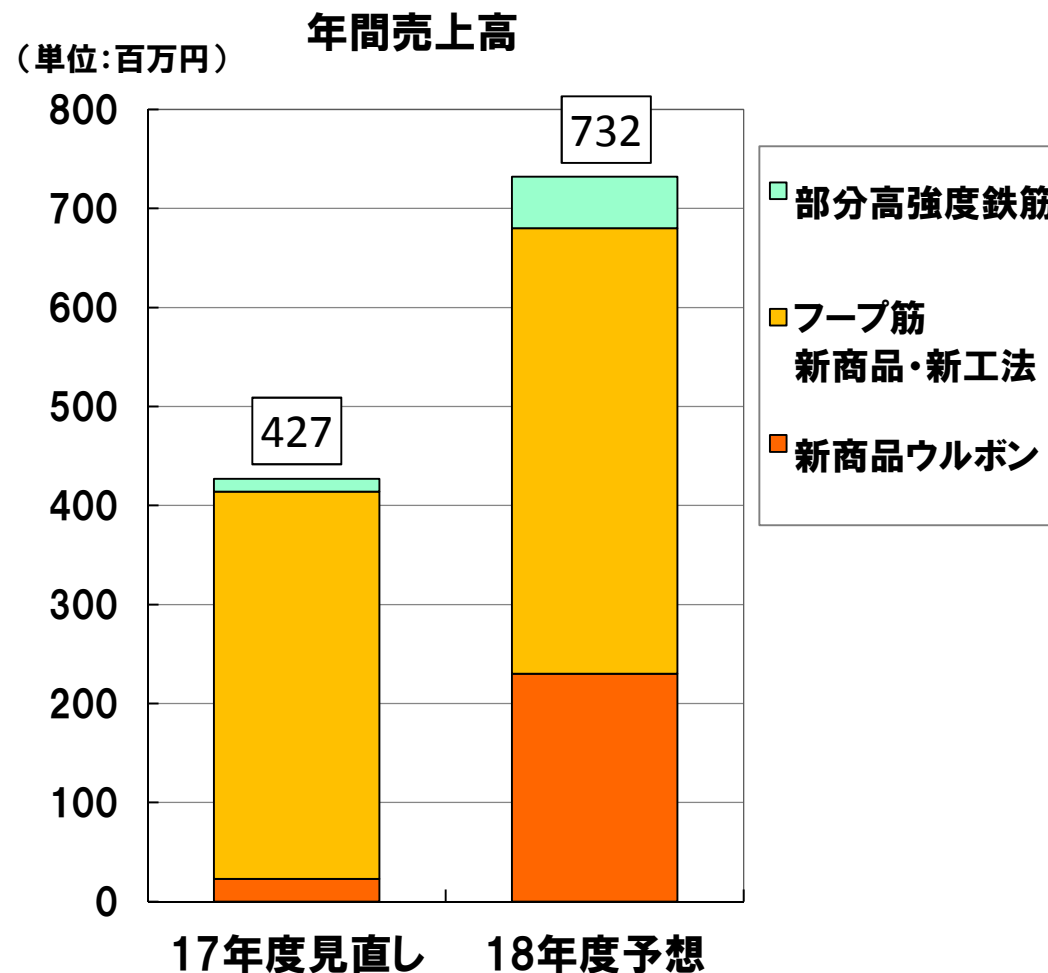
(2) ROE改善施策の具体的な検討

2. 製品事業部

(1) 新商品・新市場展開による収益改善

- ・部分高強度鉄筋、フープ筋新工法、新商品ウルボンの早期投入
- ・提案型営業の強化と推進

新商品2017年度・2018年度予想



16

中期経営計画挽回施策 (2)

3. IH事業部

新商品2017年度・2018年度予想

(1) 茨城工場の売上拡大と収益改善

- ・寒川工場との統合と新技術適用による拡販

(2) 関西地区の売上拡大と収益改善

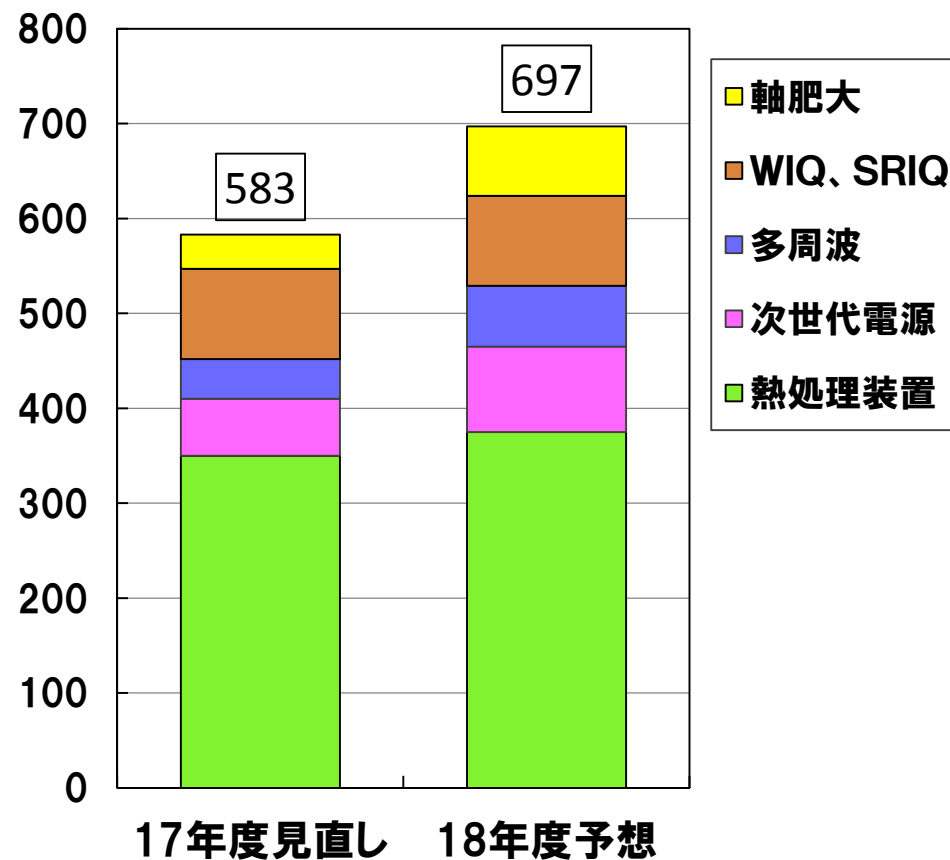
- ・トンネル掘削機用大型旋回輪など特殊大型部品加工
- ・関西地区受託加工の生産拠点再編

(3) 新商品・新市場展開による収益改善

- ・軸肥大、WIQ、SRIQ、多周波等の投入
- ・提案型営業の強化と推進

(単位:百万円)

年間売上高



17 更なる原価低減策

1. 製品事業部

- ・量産設備自動化、省人化による生産性向上
- ・輸送効率向上による輸送費低減

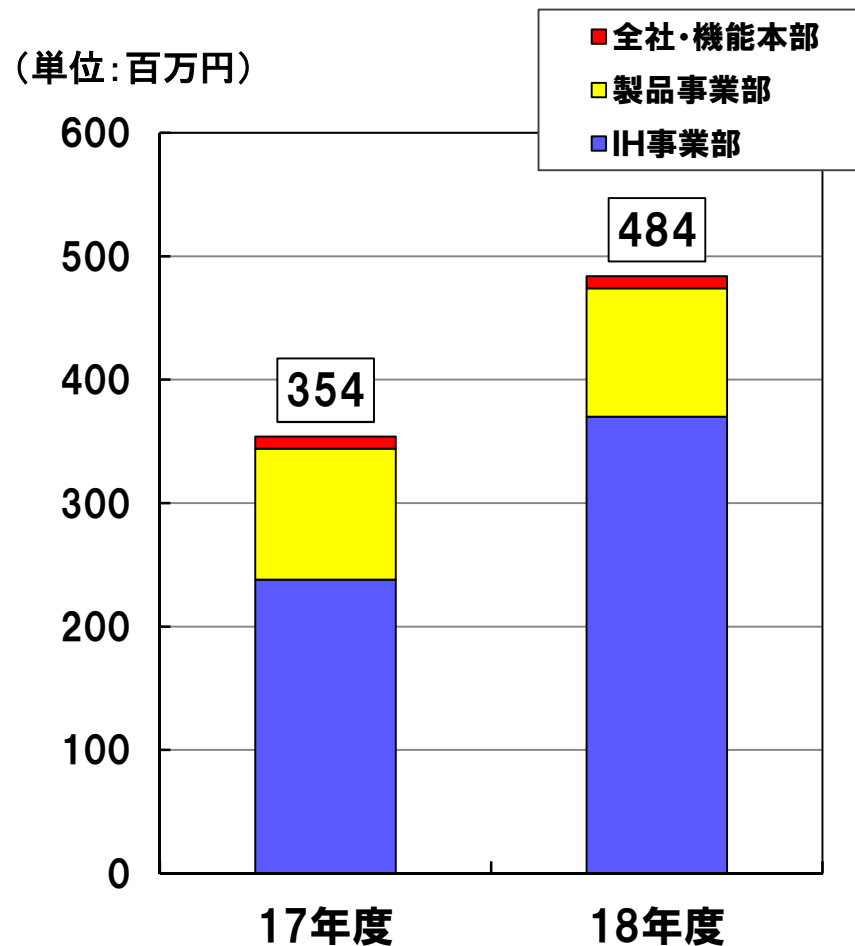
2. IH事業部

- ・加工部(茨城・寒川工場統合)合理化推進
- ・製造部(旋回輪・中空ラックバー)製造コスト削減
- ・電機部設備製造コスト削減

3. 機能本部

- ・本社部門の経費削減

2016年度比原価低減額



I 第13次中期経営計画の見直し

II 経営実績の推移

III 新商品の開発と実用化および新事業の開拓

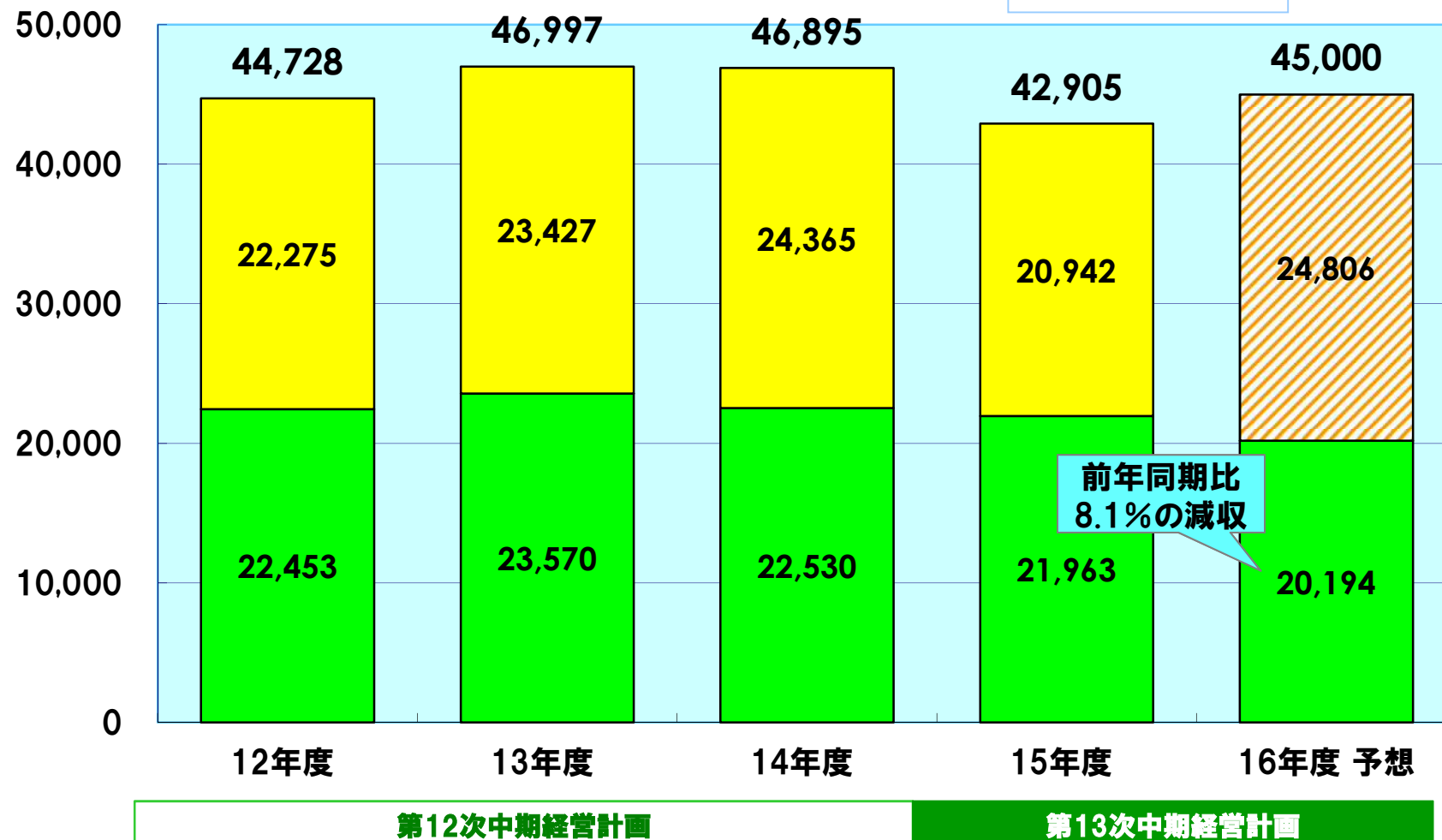
IV 2017年(平成29年)3月期第2四半期 連結決算の概要

18

連結売上高

(単位:百万円)

■ 下期 売上高
■ 上期 売上高

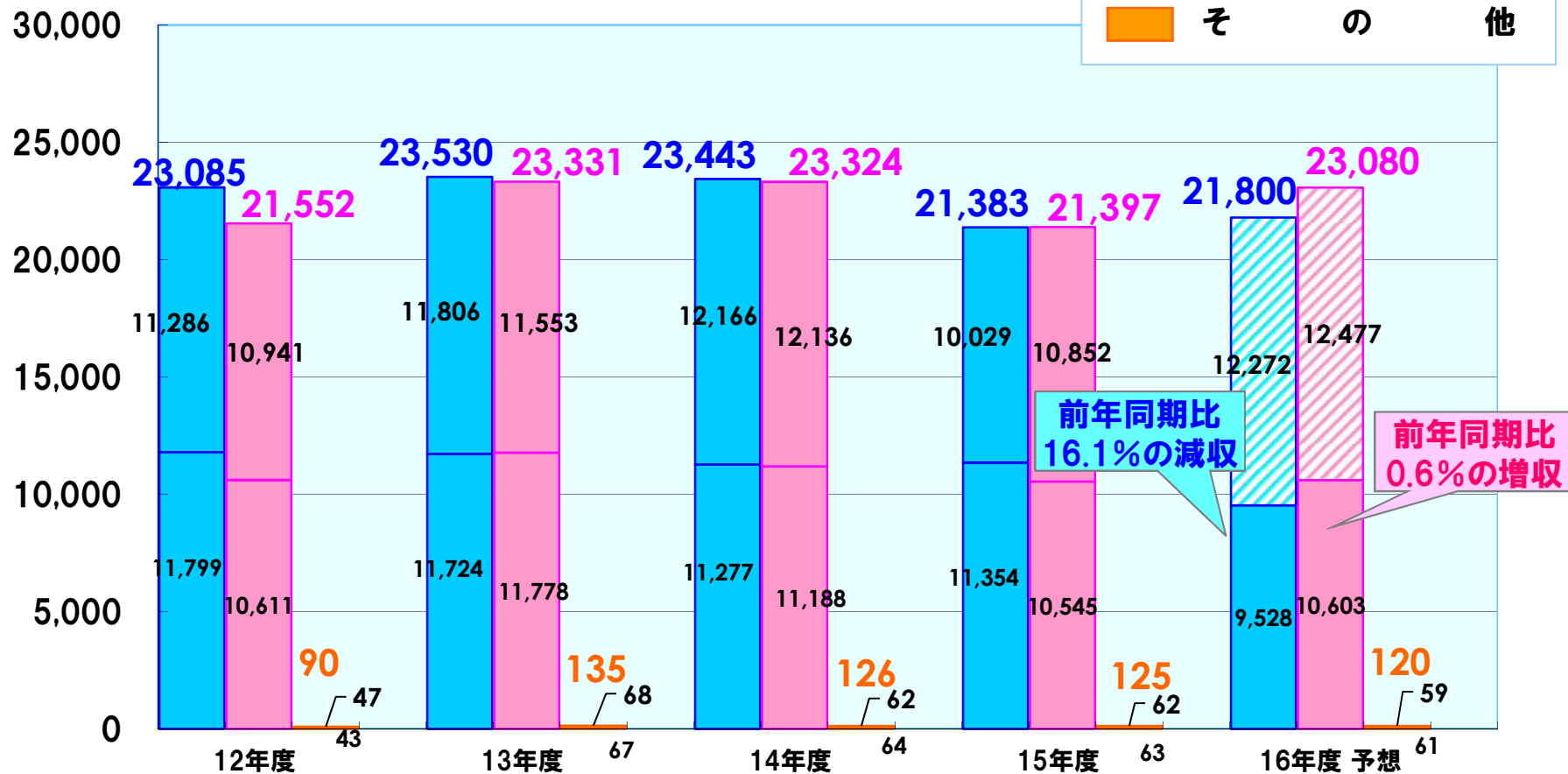
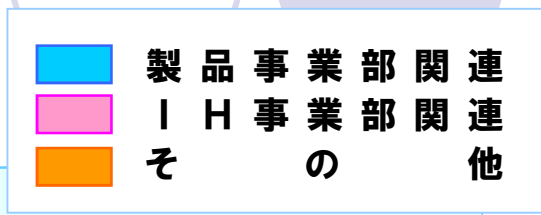


※換算レート・16年度 1中国元=15.4円、1USドル=103円

19

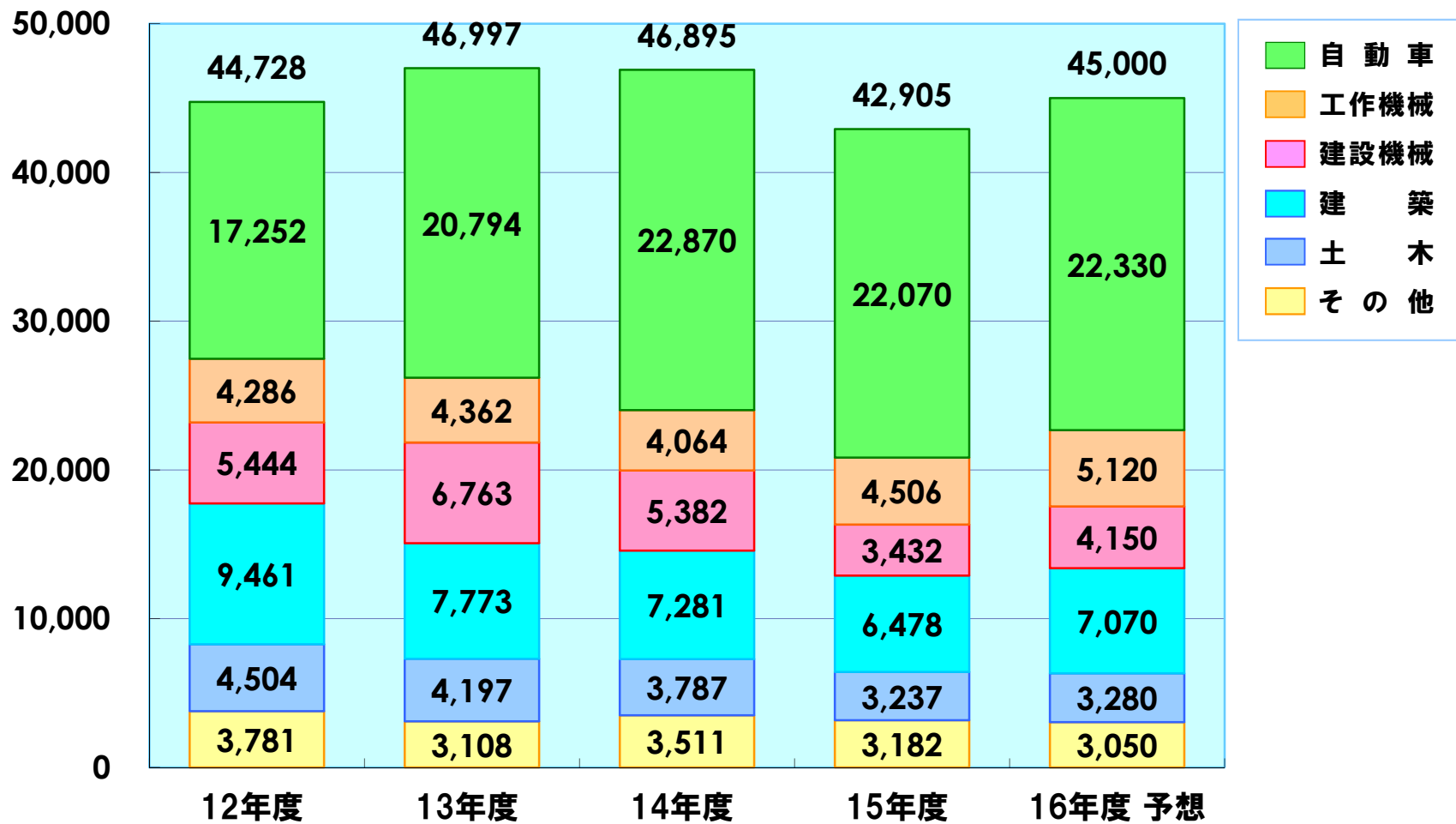
セグメント情報(連結売上高)

(単位:百万円)



20 業界別売上高

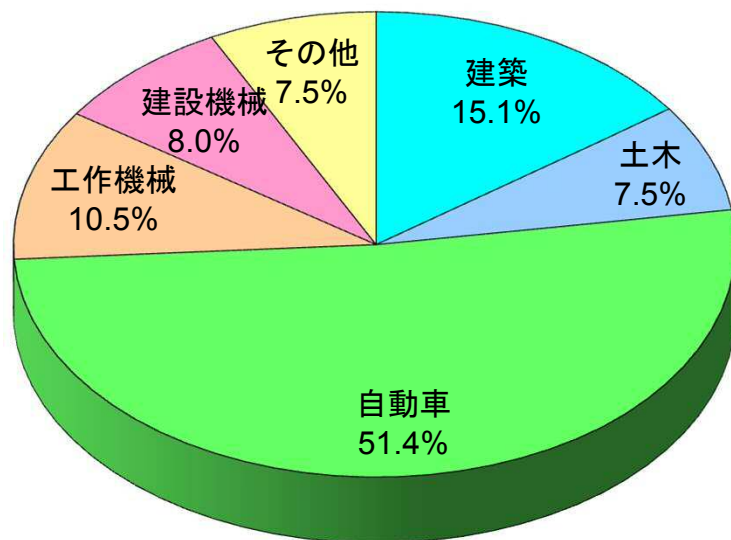
(単位:百万円)



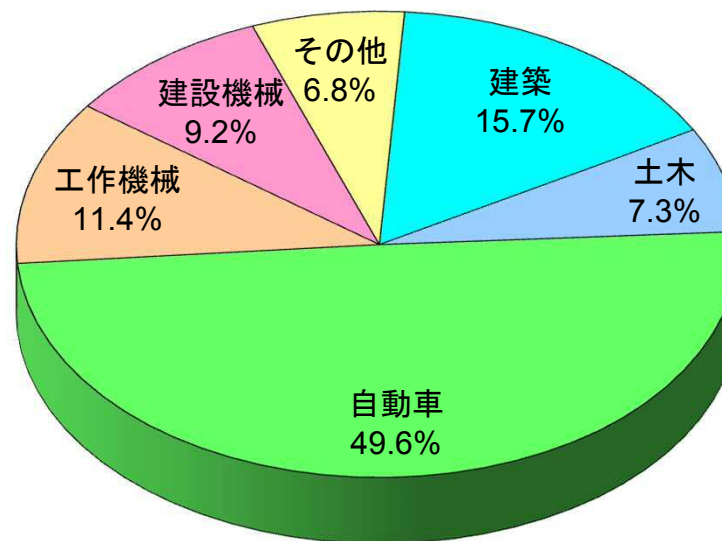
21

業界別売上高比率

2015年度実績

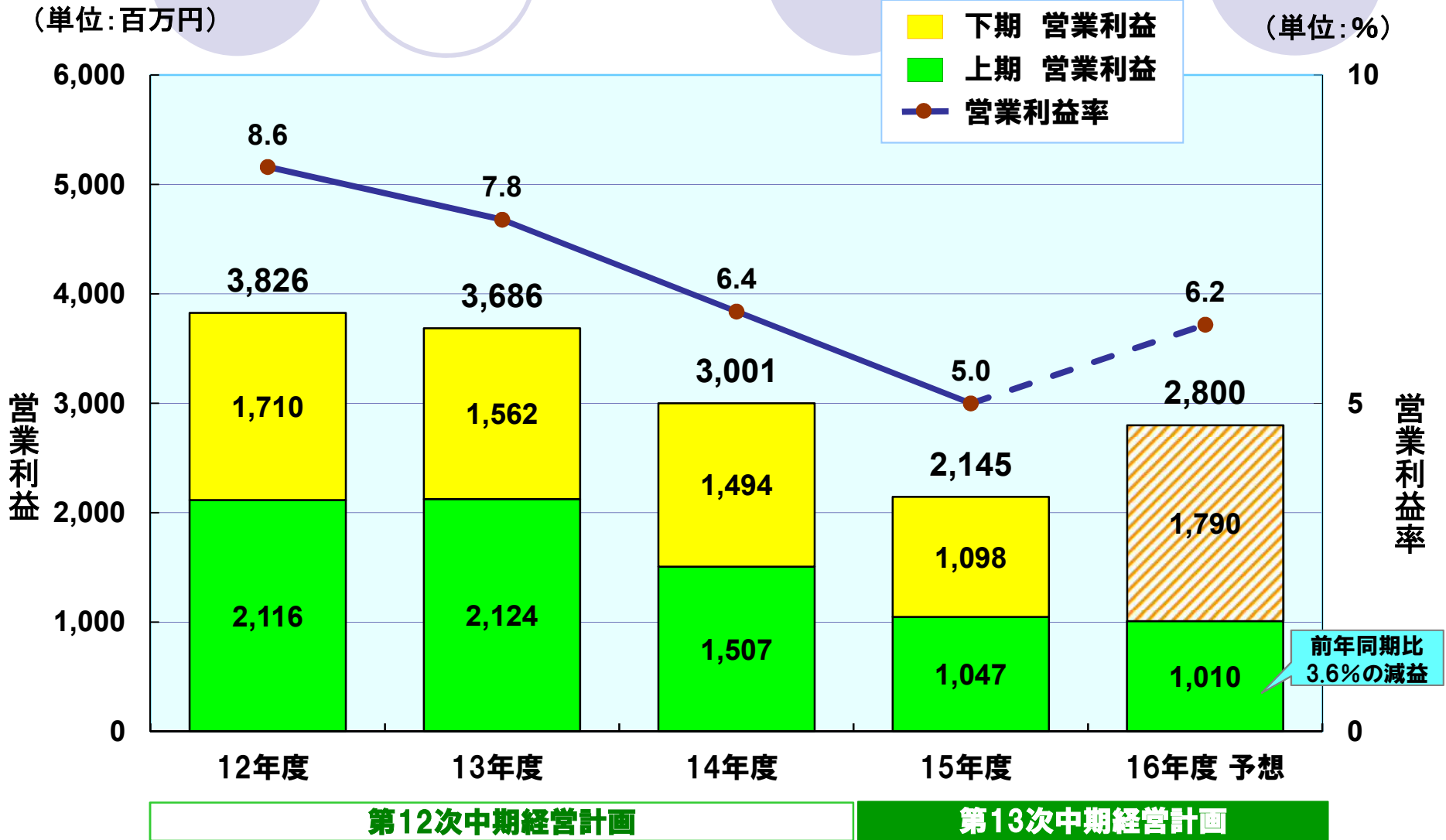


2016年度予想



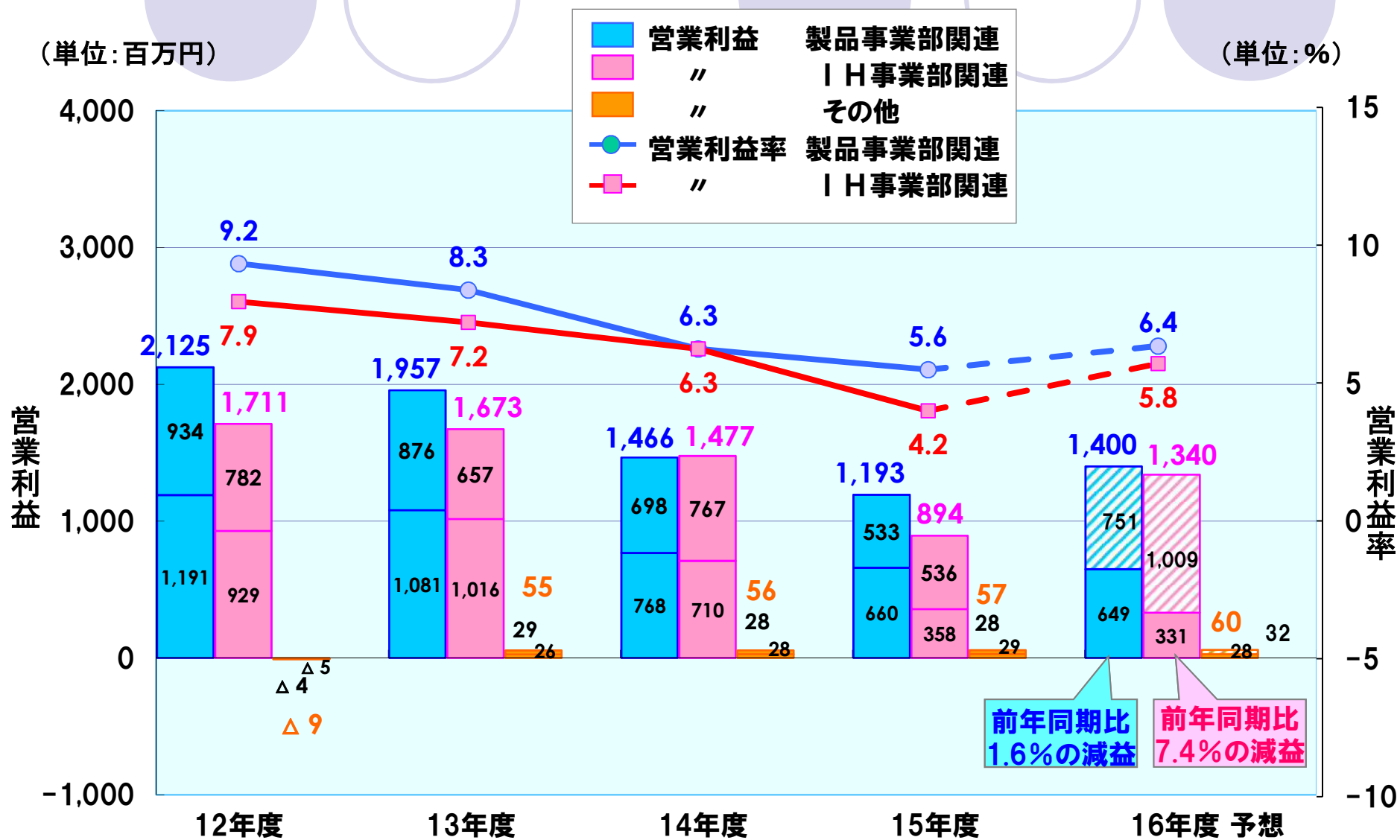
22

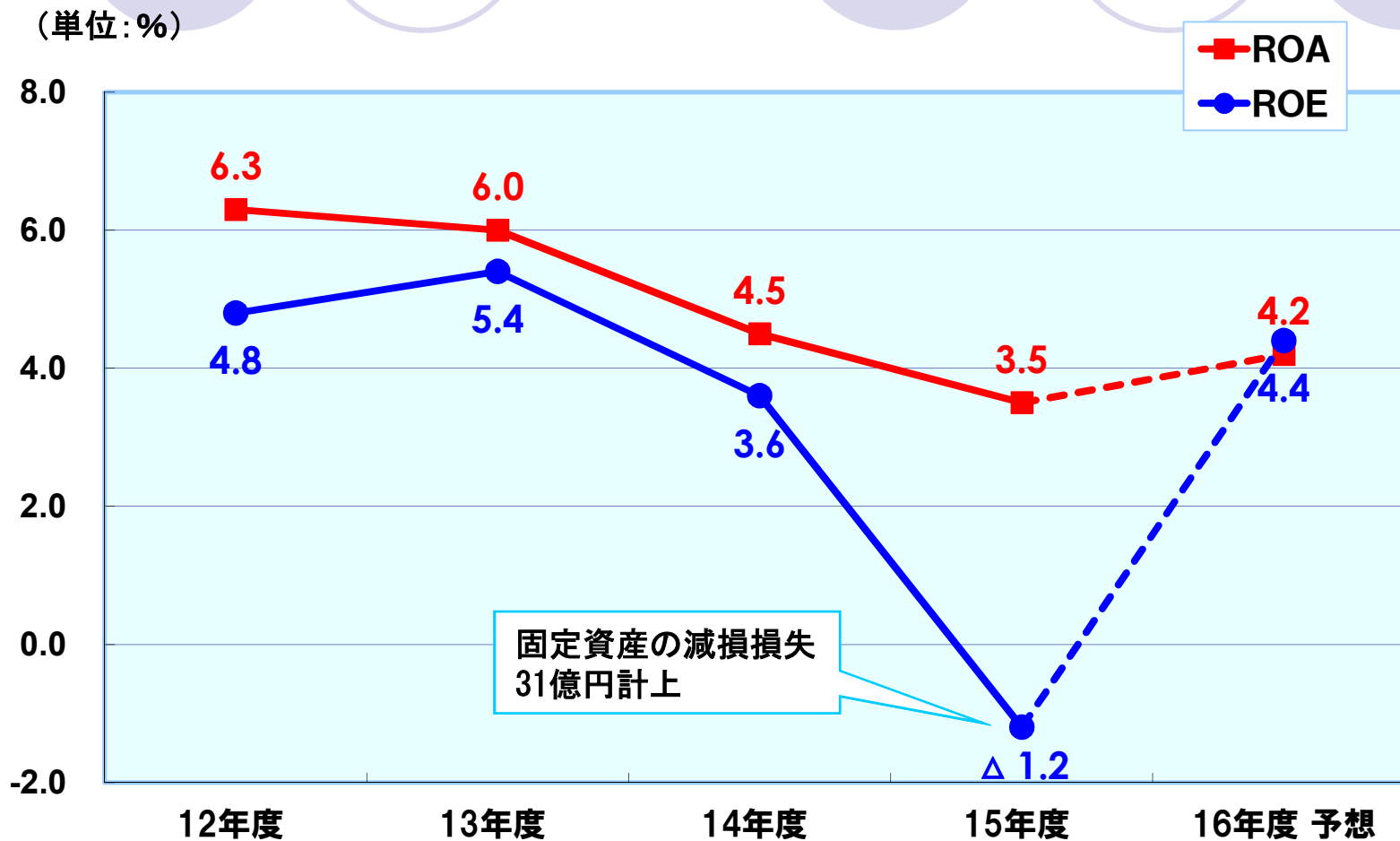
営業利益・営業利益率



23

セグメント情報(営業利益・営業利益率)

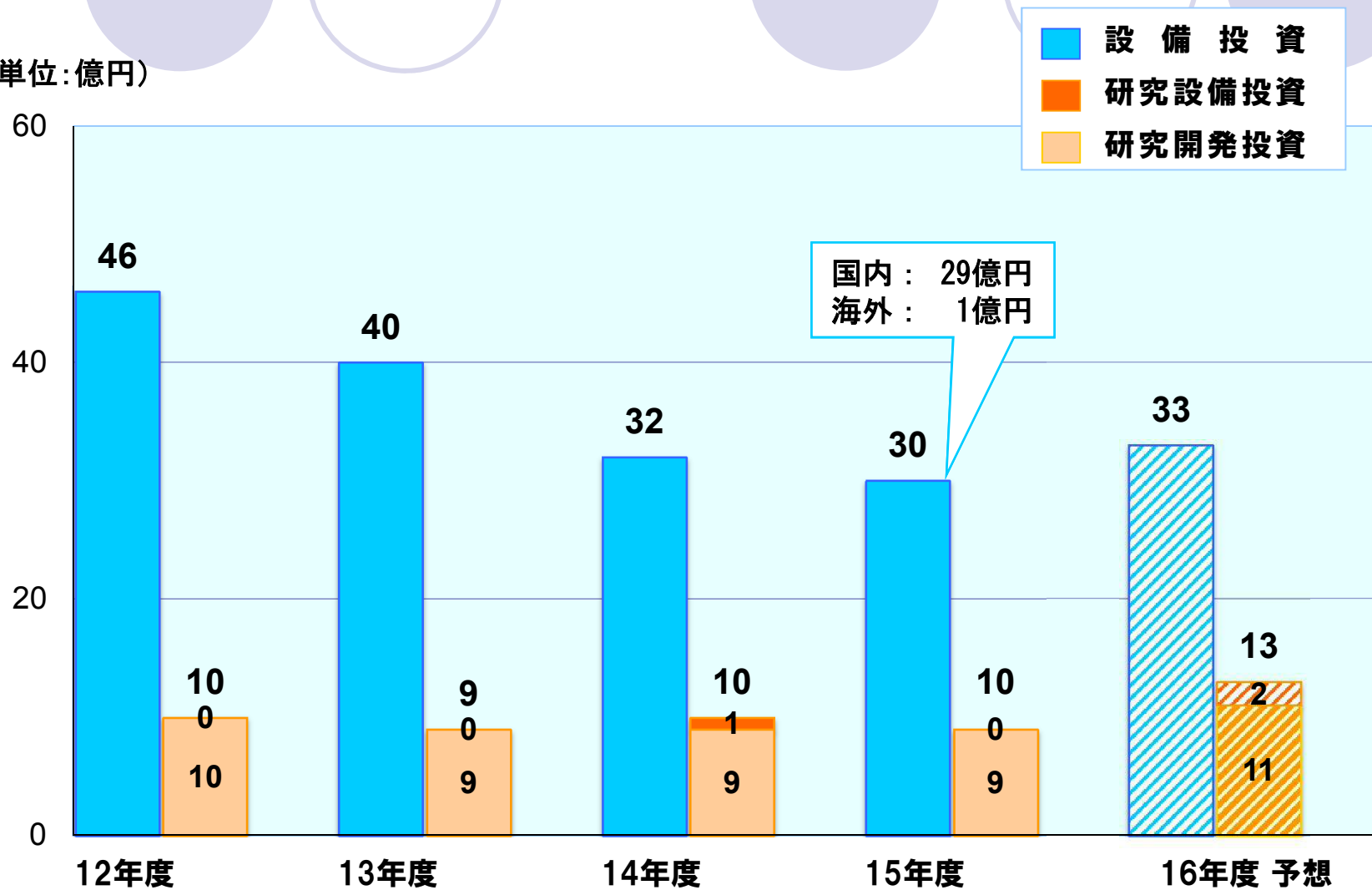




25

設備投資・研究開発投資

(単位:億円)

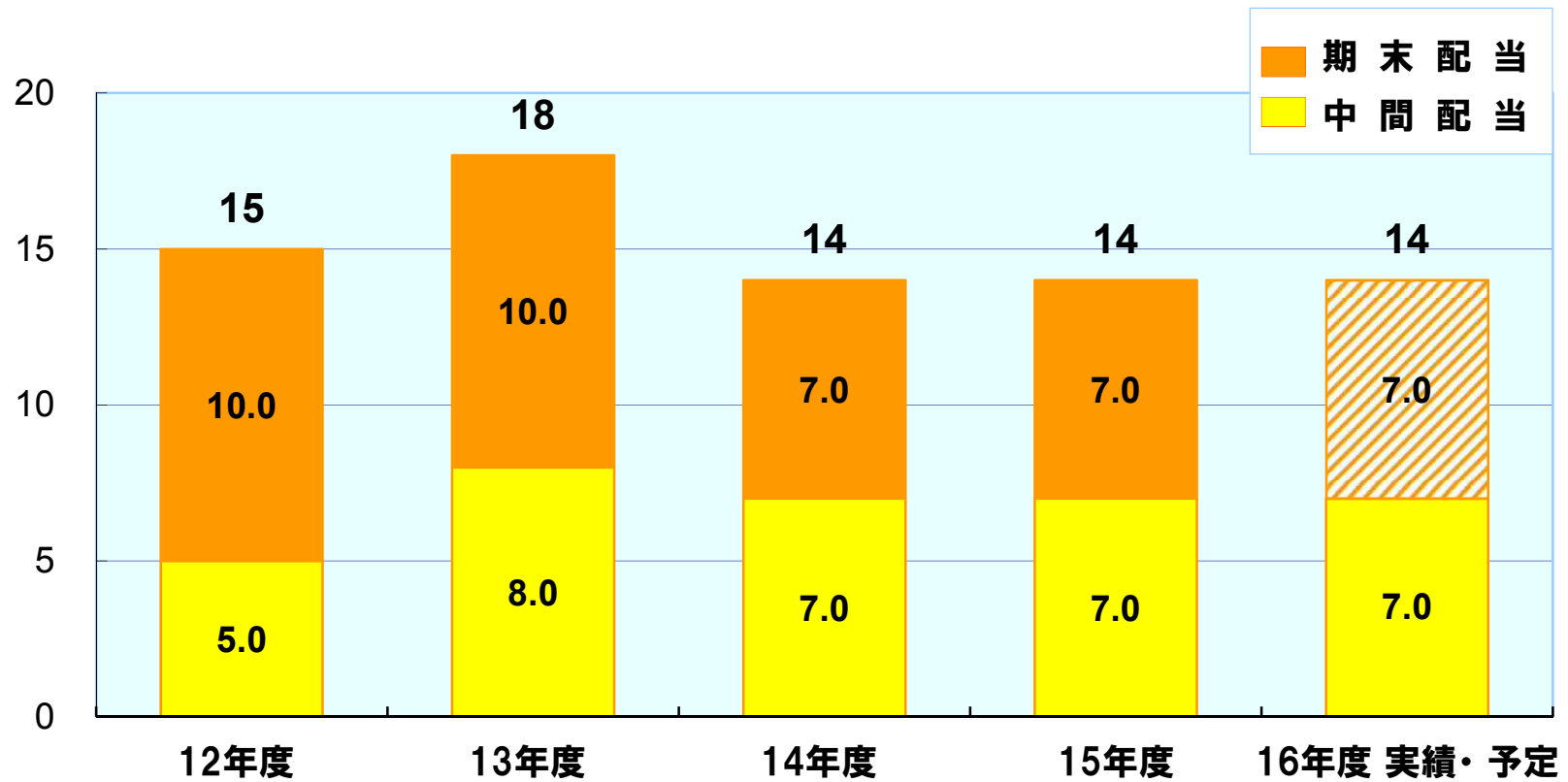


26

配当政策

基本方針

「安定した配当」を基本としており、当面、年10円を下限とし、「業績に応じた利益配分」については、連結配当性向30%以上を目処としています。



I 第13次中期経営計画の見直し

II 経営実績の推移

III 新商品の開発と実用化および新事業の開拓

IV 2017年(平成29年)3月期第2四半期 連結決算の概要

ネツレンのIH技術を生かし構造用材料(鉄筋)の**部分高強度化**

【特徴】

・IHの部分焼入れを活用し、1本に「高強度」「普通強度」の2種類の強度を持たせた「**世界初**」の鉄筋

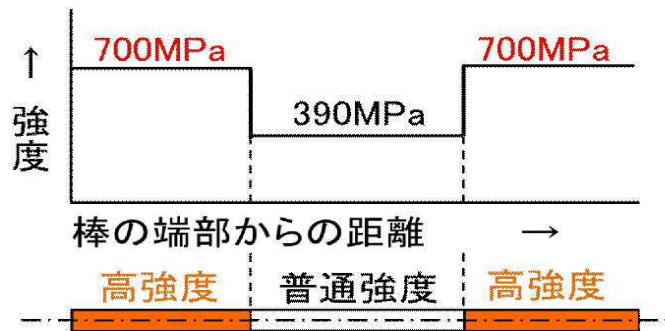
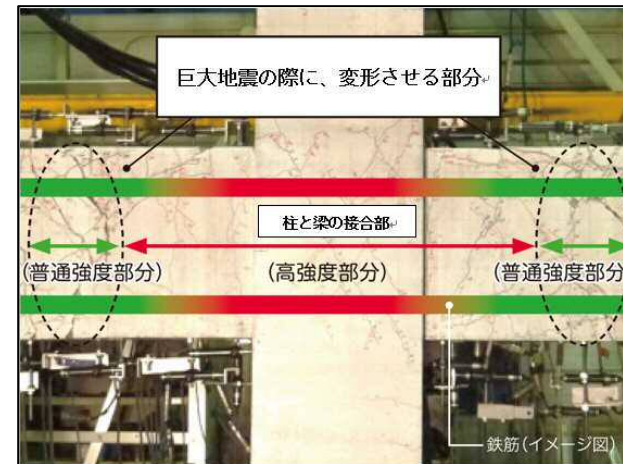


図. 部分高強度鉄筋の概念
(1本の鉄筋の中で高強度部と低強度部を併持)



【メリット】

- ・柱・梁用鉄筋を細くできるため、**鉄筋量を、従来比30～40%程度に削減可能**⇒省資源に貢献
- ・梁・柱の張り出しが減少⇒**居住空間が拡大**
- ・物で最も変形する場所をコントロール可能⇒**巨大地震発生時にも十分な耐力を確保**

28 新商品の実用化(1) “CVJ用コンパクト高周波熱処理装置”

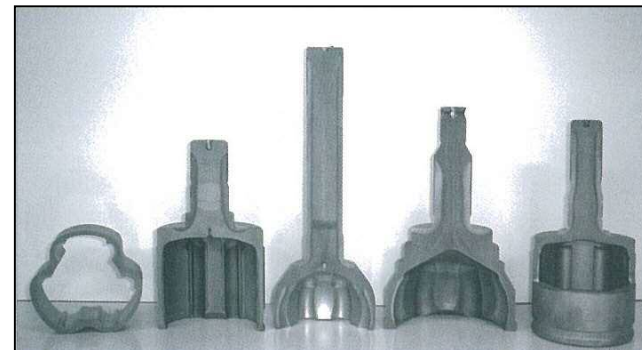


【特徴】(従来のネットレン装置比)

- ・約50%の小型化
- ・約35%のサイクルタイム短縮(業界トップレベル)
- ・メンテナンス性向上による段取り時間短縮など作業性良好

【使用実績と今後】

- ・刈谷工場にて短軸・長軸CVJ用に増設を含む3台使用中
⇒生産性向上・コスト低減に貢献
- ・岡山工場にも設置済み



各種CVJ熱処理部品例

29 新商品の実用化 (2) “SiC半導体使用電源”

【従来】・パワー半導体には「Si」を使用したIGBTやMOSFETを使用



【特徴】・次世代高効率パワー半導体「SiC-MOSFET」を使用

・独自の高速スイッチング技術と組合せてさらに高効率化

【成果】・高周波側の誘導加熱電源 (160kW、200kHz) に適用

・小型化(当社比で容積約40%、重量約50%減)

・高性能・機能を維持

【使用実績と今後】・寒川工場生産機としてフィールドテスト中⇒順調

・仕様拡大開発を継続中

従来機とSiC半導体使用機の比較

200kHz・160kW	従来機 (Si半導体)	開発機 (SiC半導体)	低減率
幅(mm)	1,000	1,000	約40%減
奥行(mm)	800	600	
高さ(mm)	1,950	1,500	
重量(mm)	900	420	約50%減

(SiC半導体/ROHM(株)製)



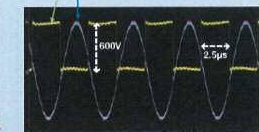
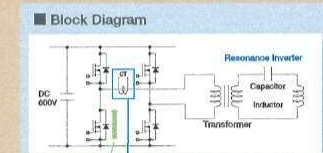
産機用 フルSiC IPM
Full SiC IPMs for Industrial

大型IHインバータ電源
Large-scale IH Inverter power supplies

高効率で劇的な小型化を実現
Achieve a dramatic reduction in size with high efficiency



High Power 160kW-200kHz



NETUREN 高周波熱線様ご提供

ローム(株)の京都・東京のショールームにて
掲示中のパネル
(ローム(株)のご厚意で公開)

30

新事業の開拓

“海外事業展開の現状”

5カ国 9社（子会社）

■ Neturen Czech s.r.o.



■ PT. NETUREN INDONESIA



■ 上海中煉線材有限公司



■ 広州豊東熱煉有限公司



■ 塩城高周波熱煉有限公司



■ 高周波熱煉(中国)軸承有限公司

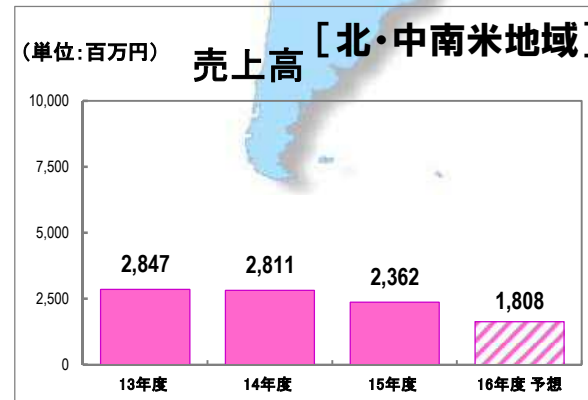
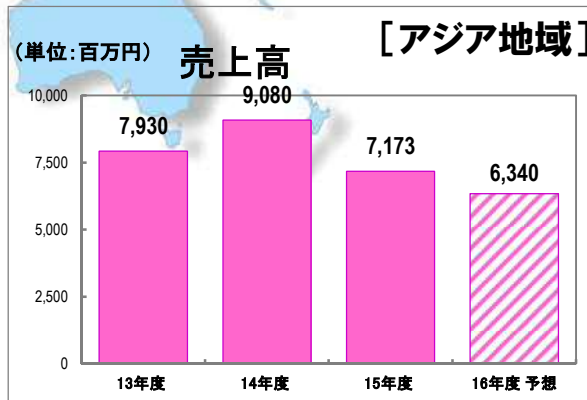
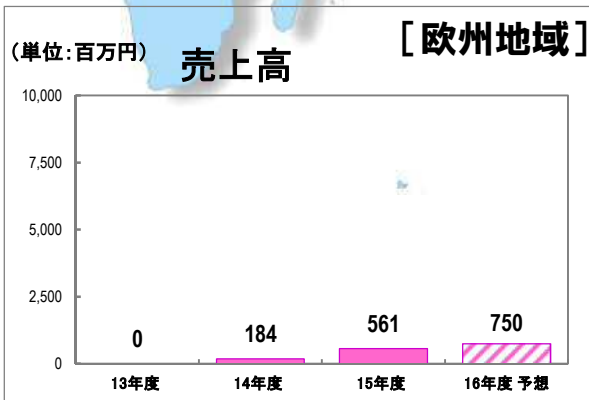


■ Neturen USA, INC.

■ Neturen America Corporation



■ NETUREN MEXICO, S.A. de C.V.



※グループ内取引を含む。
※日本からの輸出は含まず。

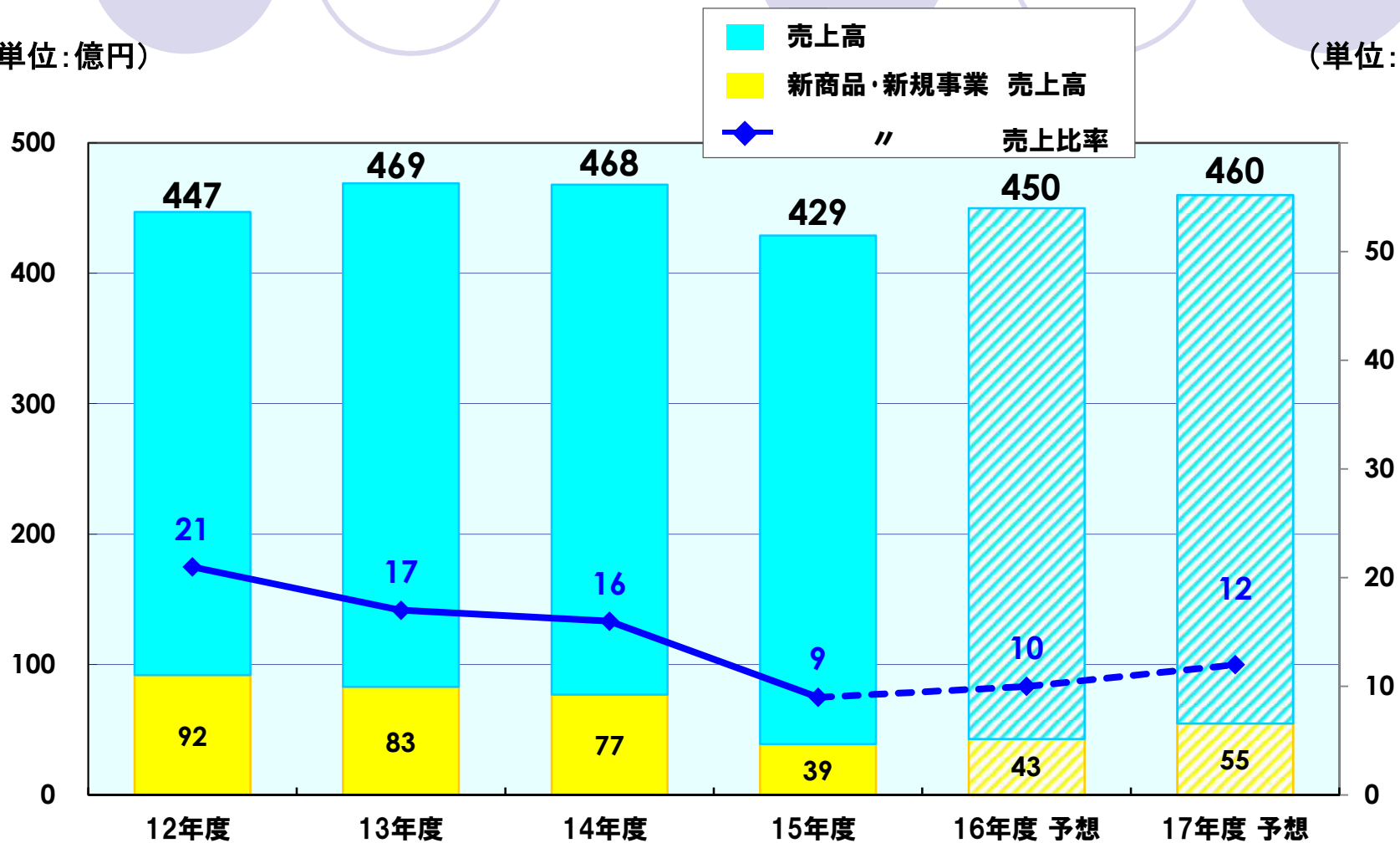


31

新商品・新規事業売上高

(単位:億円)

(単位:%)



※新商品・新規事業売上高は、ネットレン新商品・新規事業売上基準による。

I 第13次中期経営計画の見直し

II 経営実績の推移

III 新商品の開発と実用化および新事業の開拓

IV 2017年(平成29年)3月期第2四半期 連結決算の概要

1. 全般

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、円高の進行などが企業業績や個人消費にも影響をおよぼし、先行き不透明な状況で推移いたしました。

また、世界経済においては、中国をはじめとする新興国経済の減速など、景気の下振れリスクが懸念される状況となりました。

売上高	20,194百万円	(前年同期比	8.1%の減収)
営業利益	1,010百万円	(前年同期比	3.6%の減益)
経常利益	1,148百万円	(前年同期比	16.6%の減益)
親会社株主に帰属する四半期純利益	837百万円	(前年同期比	1.7%の減益)

2. セグメント別

(1) 製品事業部関連事業

① 土木・建築関連製品

主として土木関係工事が低調に推移したため、前年同期と比較し、減少いたしました。

② 高強度ばね鋼線(ITW)

国内・欧州で堅調に推移したものの、中国・米国で減少したため、前年同期と比較し若干減少いたしました。

③損益

競合他社との競争が激しさを増す中、政策的な値下げを行ったため、当該セグメントの売上高は減少いたしました。

売上高 9,528百万円（前年同期比 16.1%の減収）

営業利益 649百万円（前年同期比 1.6%の減益）

(2) IH事業部関連事業

①熱処理受託加工関連

自動車向けの受注が堅調に推移したことにより、前年同期と比較し増加いたしました。

②建設機械部品関連

厳しい受注状況が継続しているものの、国内・中国で販売が伸びたことにより、前年同期と比較して増加いたしました。

③自動車部品関連

国内での販売が減少したものの、海外での販売が比較的堅調に推移したため、前年同期と比較し若干の増加となりました。

④誘導加熱装置関連

国内・中国での販売が低調であったため、前年同期と比較して減少いたしました。

⑤損益

売上高	10,603百万円	(前年同期比	0.6%の増収)
営業利益	331百万円	(前年同期比	7.4%の減益)

(3) その他**①不動産賃貸事業等**

小規模ではありますが、安定的に業績に寄与しております。

②損益

売上高	61百万円	(前年同期比	2.1%の減収)
営業利益	28百万円	(前年同期比	1.2%の減益)

3. 財政状況

先行き不透明感が強い中、フリーキャッシュ・フローの黒字、実質的な無借金経営、高い自己資本比率など、健全かつ強固な財務体質を維持しています。

(単位:百万円)

	2015年 9月期	2016年 9月期	増 減	増減率 (%)	2016年 3月期
売 上 高	21,963	20,194	△ 1,769	△ 8.1	42,905
営 業 利 益	1,047	1,010	△ 37	△ 3.6	2,145
経 常 利 益	1,377	1,148	△ 229	△ 16.6	2,758
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	852	837	△ 14	△ 1.7	△ 687

36

2017年3月期第2四半期 連結決算(単独期間)の要点(5)

(単位:百万円)

	2016年 3月期	2017年 3月期		前年同期比		直前四半期比	
	第2四半期	第1四半期	第2四半期	増減額	増減率(%)	増減額	増減率(%)
製品事業部関連事業	5,618	5,112	4,416	△ 1,202	△ 21.4	△ 696	△ 13.6
IH事業部関連事業	6,058	4,918	5,685	△ 373	△ 6.2	766	15.6
その他	32	30	31	△ 0	△ 2.6	1	3.6
売上高	11,709	10,061	10,132	△ 1,576	△ 13.5	71	0.7
製品事業部関連事業	271	356	293	21	8.0	△ 63	△ 17.8
IH事業部関連事業	346	125	205	△ 140	△ 40.6	80	63.8
その他	15	13	15	△ 0	△ 0.3	1	11.3
営業利益	633	495	514	△ 119	△ 18.8	18	3.7
経常利益	767	560	587	△ 179	△ 23.4	27	4.8
親会社株主に帰属する 四半期純利益	411	△ 167	1,004	593	144.4	1,171	-

(単位:百万円)

事業区分	主な製品	2015年 9月期	2016年 9月期	増 減	増減率(%)	2016年 3月期
製品事業部 関連事業	PC鋼棒 異形PC鋼棒 高強度せん断補強筋 高強度ばね鋼線	11,354	9,528	△1,826	△16.1	21,383
I H事業部 関連事業	熱処理受託加工 誘導加熱装置 自動車部品 建設機械部品	10,545	10,603	58	0.6	21,397
そ の 他	動産ならびに不動産に 係る賃貸事業および 上記以外の事業	63	61	△ 1	△ 2.1	125
合 計		21,963	20,194	△ 1,769	△ 8.1	42,905

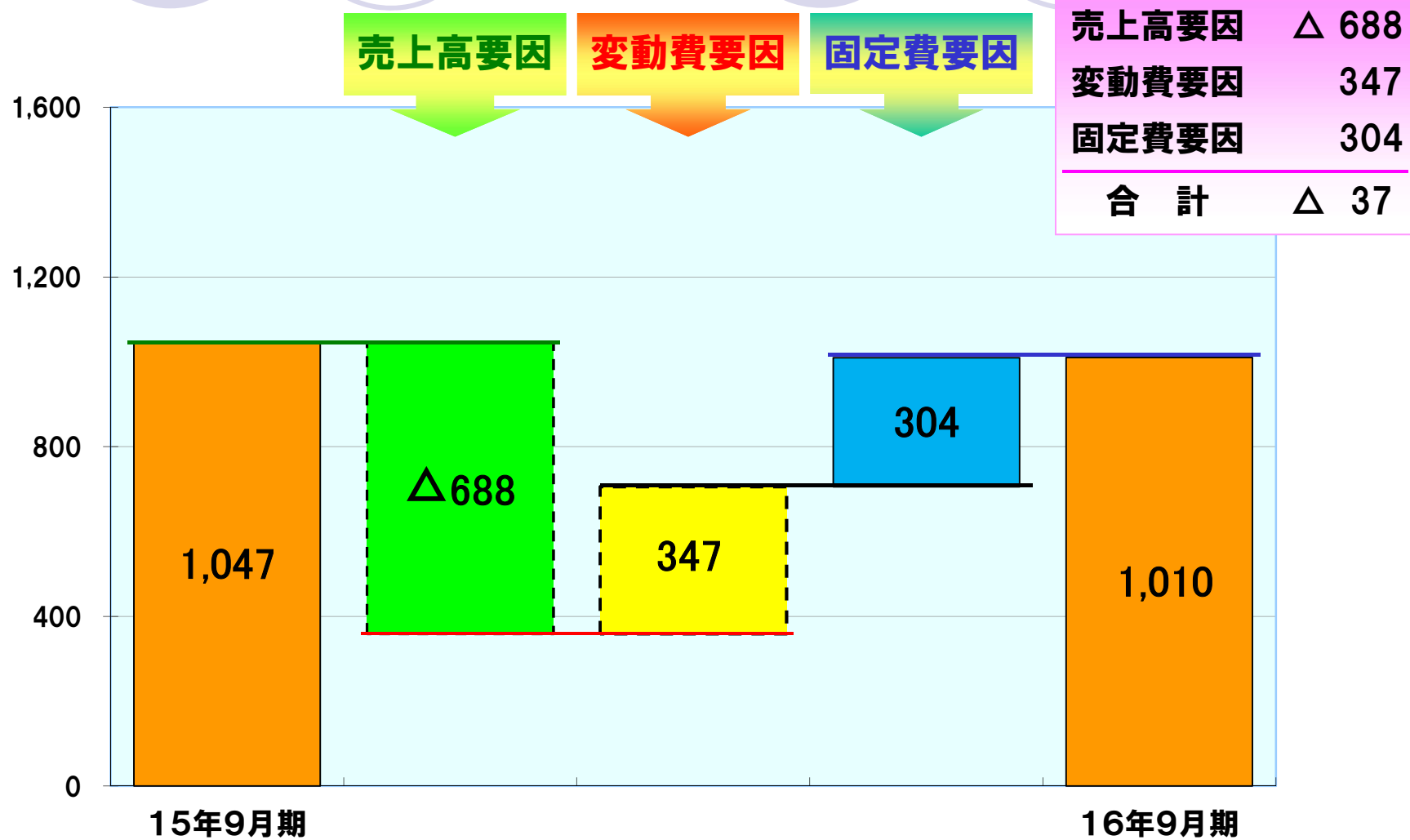
(単位:百万円)

事業区分	主な製品	2015年 9月期	2016年 9月期	増 減	増減率(%)	2016年 3月期
製品事業部 関連事業	PC鋼棒 異形PC鋼棒 高強度せん断補強筋 高強度ばね鋼線	660	649	△ 10	△ 1.6	1,193
I H事業部 関連事業	熱処理受託加工 誘導加熱装置 自動車部品 建設機械部品	358	331	△ 26	△ 7.4	894
そ の 他	動産ならびに不動産に 係る賃貸事業および 上記以外の事業	29	28	△ 0	△ 1.2	57
合 計		1,047	1,010	△ 37	△ 3.6	2,145

39

連結営業利益増減内容

(単位:百万円)

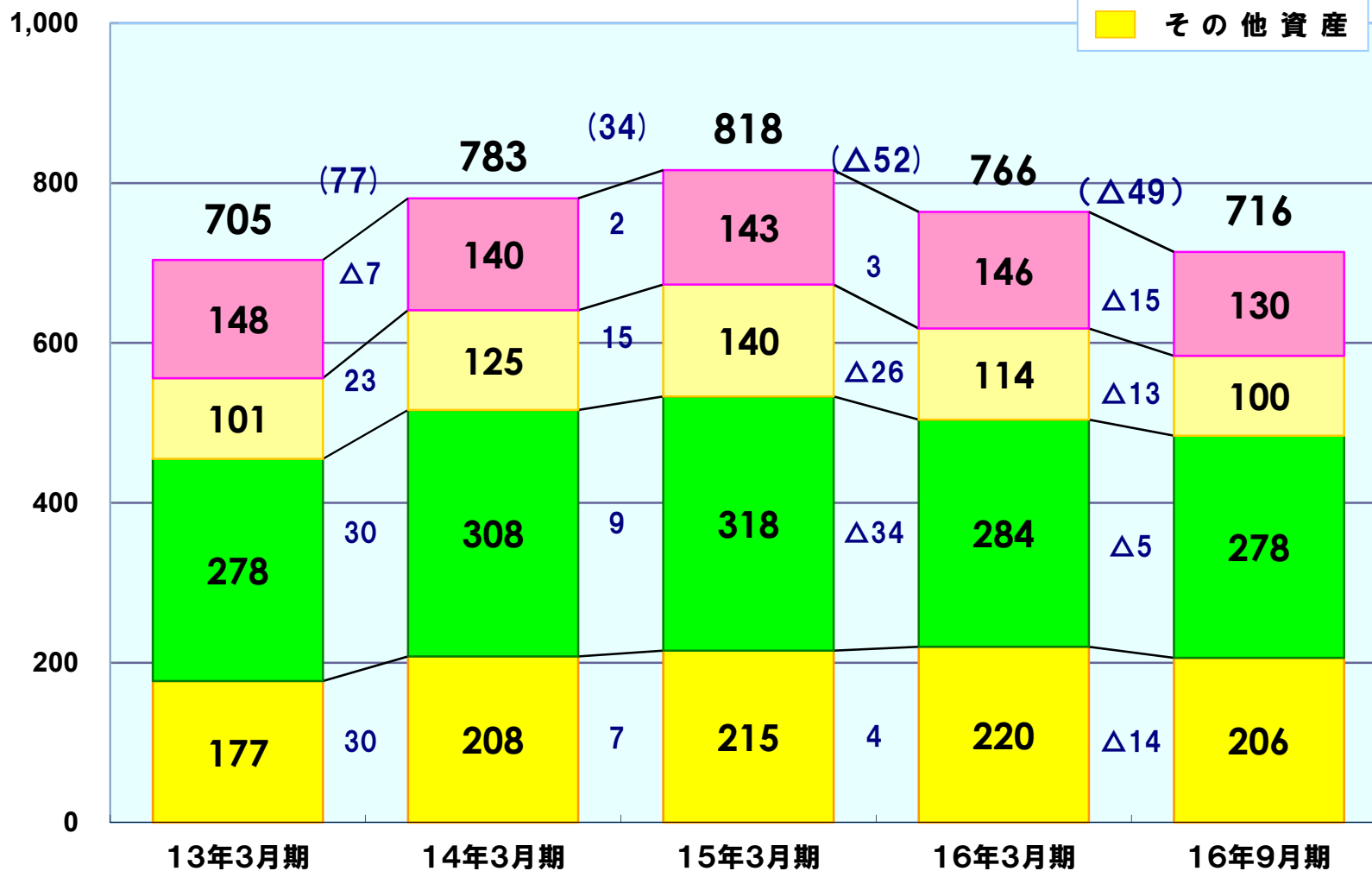
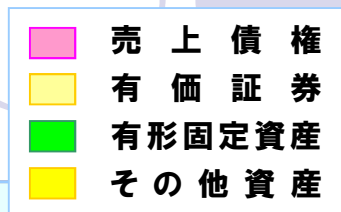


(単位:百万円)

科目	期別	2015年 9月期	2016年 9月期	増減	増減率 (%)	2016年 3月期
売上高		21,963	20,194	△ 1,769	△ 8.1	42,905
売上原価		17,586	15,610	△ 1,975	△ 11.2	34,168
売上総利益		4,377	4,583	206	4.7	8,737
販売費及び一般管理費		3,329	3,573	244	7.3	6,591
営業利益		1,047	1,010	△ 37	△ 3.6	2,145
営業外収益		383	290	△ 93	△ 24.3	803
営業外費用		53	151	98	183.0	191
経常利益		1,377	1,148	△ 229	△ 16.6	2,758
特別利益		128	4	△ 124	△ 96.8	770
特別損失		40	29	△ 11	△ 28.4	3,149
税金等調整前四半期(当期)純利益		1,465	1,123	△ 342	△ 23.4	379
法人税、住民税及び事業税		461	239	△ 222	△ 48.1	923
法人税等調整額		-	-	-	-	△ 131
四半期(当期)純利益		1,003	883	△ 120	△ 12.0	△ 411
(内訳)						
親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益		852	837	△ 14	△ 1.7	△ 687
非支配株主に帰属する四半期(当期)純利益		151	45	△ 105	△ 69.9	275

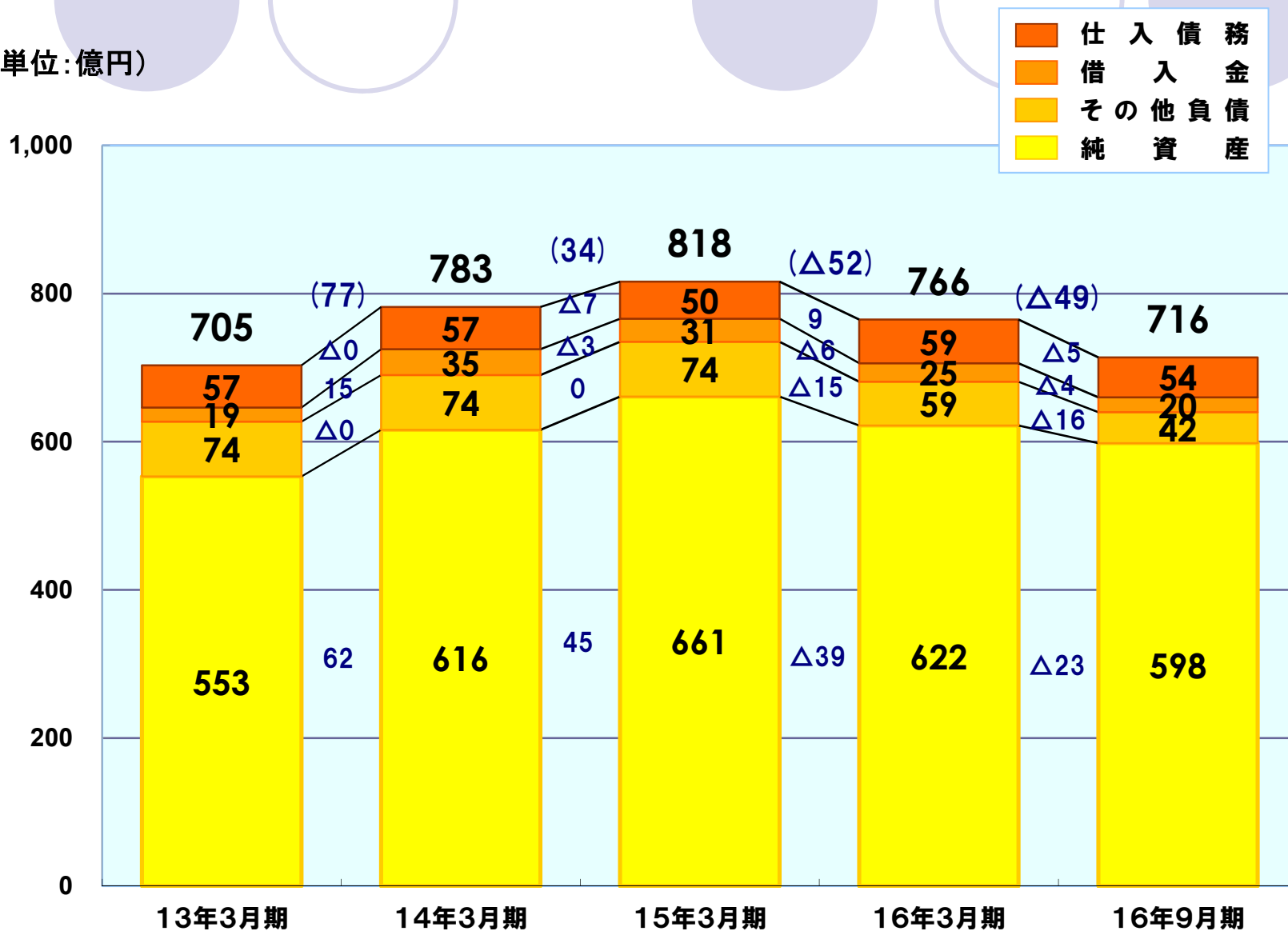
2016年9月期 資産残高の推移(連結)

(単位: 億円)



2016年9月期 負債・純資産残高の推移(連結)

(単位:億円)



(単位:百万円)

科 目	2015年 9月期	2016年 9月期	対前年同期比 増 減	2016年 3月期
税金等調整前四半期(当期)純利益	1,465	1,123	△ 342	379
減価償却費	1,490	1,308	△ 182	2,930
減損損失	-	-	-	3,102
売上債権の増減	△ 323	1,071	1,394	△ 534
仕入債務の増減	224	△ 370	△ 594	1,019
その他	△ 646	△ 1,023	△ 377	△ 2,322
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,210	2,108	△ 102	4,574
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 1,322	△ 1,363	△ 40	△ 2,442
フリーキャッシュ・フロー	888	745	△ 142	2,132
借入金	△ 80	△ 375	△ 295	△ 647
配当金の支払額	△ 298	△ 298	0	△ 596
その他	△ 27	△ 108	△ 81	△ 149
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 406	△ 783	△ 377	△ 1,393
キャッシュ・フロー期末残高	13,925	13,752	△ 172	14,054

1. 全般

国内外の景気動向は、今後も予断を許さない状況であり、かつ、当社グループの事業においては、建設機械業界や土木・建築業界からの受注が本格的な回復に至るまでには、なお時間を要すると想定しております。

第13次中期経営計画「*Global Innovation 70th*」に基づき、海外事業を含む慎重かつ積極的な事業展開を実施するとともに、原価低減に努め、収益力の向上を図ってまいります。

売上高	45,000百万円	(前年同期比	4.9%の増収)
営業利益	2,800百万円	(前年同期比	30.5%の増益)
経常利益	3,300百万円	(前年同期比	19.6%の増益)
親会社株主に帰属する当期純利益	1,900百万円	(前年同期は、687百万円の損失)	

2. セグメント別

(1) 製品事業部関連事業

① 土木・建築関連製品

土木・建築市場は減少傾向ですが、関連商品の他用途展開による受注量の増加を予想しております。

② 高強度ばね鋼線(ITW)

受注量は増加、円高影響により売上高はやや減少すると予想しております。

③ 損益

売上高	21,800百万円	(前年同期比	2.0%の増収)
営業利益	1,400百万円	(前年同期比	17.4%の増益)

(2) IH事業部関連事業

① 熱処理受託加工関連

自動車業界からの受注量が、堅調に推移すると予想しております。

②建設機械部品関連

厳しい受注状況が継続しているものの、国内・中国での販売が増加すると予想しております。

③誘導加熱装置関連

国内・中国での受注量が低調であり、減少すると予想しております。

④自動車部品関連

国内での受注量は減少するものの、海外での販売は堅調に推移すると予想しております。

⑤損益

売上高	23,080百万円	(前年同期比 7.9%の増収)
営業利益	1,340百万円	(前年同期比 49.9%の増益)

(3) その他

売上高	120百万円	(前年同期比 4.0%の減収)
営業利益	60百万円	(前年同期比 5.3%の増益)

(単位:百万円)

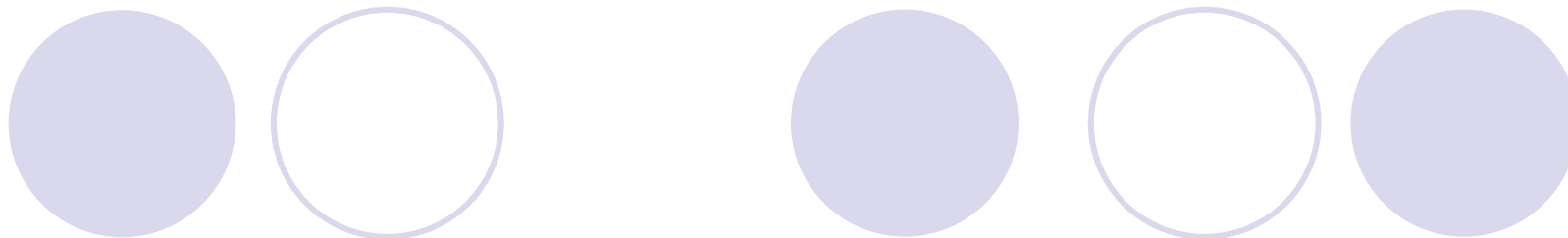
事業区分	2016年 3月期	2017年 3月期 (予想)	増 減	増減率 (%)	2016年 9月期
製品事業部 関連事業	21,383	21,800	416	2.0	9,528
IH事業部 関連事業	21,397	23,080	1,682	7.9	10,603
そ の 他	125	120	△ 5	△ 4.0	61
合 計	42,905	45,000	2,094	4.9	20,194

(単位:百万円)

事業区分	2016年 3月期	2017年 3月期 (予想)	増 減	増減率 (%)	2016年 9月期
製品事業部 関連事業	1,193	1,400	206	17.4	649
IH事業部 関連事業	894	1,340	445	49.9	331
そ の 他	57	60	2	5.3	28
合 計	2,145	2,800	654	30.5	1,010

(単位:百万円)

	2015年 3月期	2015年 9月期	2016年 3月期	2016年 9月期	2017年 3月期 (予 想)
設備投資額	3,232	1,020	3,088	1,427	3,300
減価償却費	2,967	1,490	2,930	1,308	2,800



ネツレン

高周波熱錬株式会社

(注)当資料に記載の将来に関する予想数値は、公表時点において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により開示した予想数値と異なる場合があります。